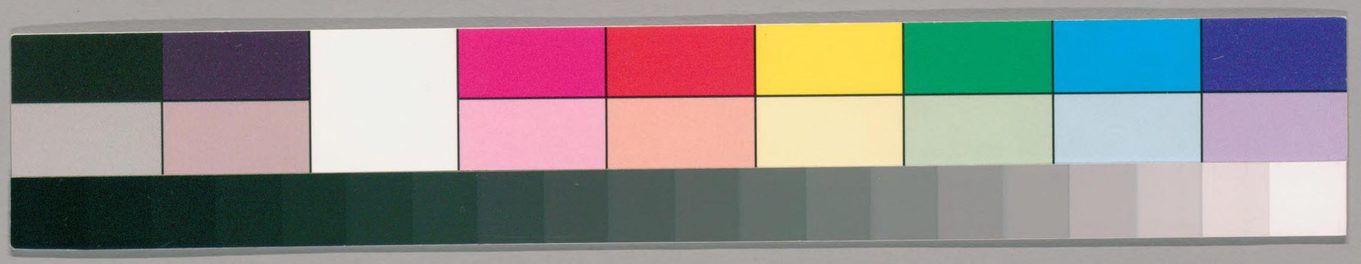


舍密開宗

特1-855

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855

27.7.11

特1
855

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855

特 1
855

舍密開宗

宇田川榕菴譯

六篇備

本店開在淺草城門外黃茅街朝東宇田川先生三世著篇製本俱全凡四方君子賜雲顧者須認每部印章方是正本如有僞印者男盜女娼書肆青藜閣主人謹白

舍密開宗内篇標目

卷十六

植物成分 近成分名目

第二百六十三章 粤幾斯分 製法括套

第二百六十四章 粘液蔴謨

第二百六十五章 糖 粘糖 火光閃出

第二百六十六章 糖酸蔴酸

第二百六十七章 蔴酸性質

第二百六十八章 蔴酸加尔基

第二百六十九章 自然酸及酸汁 植酸五綱

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

第二百七十章 枸酸 枸酸塩類
第二百七十一章 没食酸 附錄單寧
第二百七十二章 没食酸性質 附錄會尔剌倔酸
第二百七十三章 檸酸 分檸酸枸酸法
第二百七十四章 檸酸性質 檸酸塩類
○卷十七
第二百七十五章 酒酸 製法
第二百七十六章 酒酸性質 酒酸塩類 ○附錄福傑先酸
第二百七十七章 安息酸 安息酸塩類
第二百七十八章 蓧酸加里 中性蓧酸加里 四復蓧酸加里
第二百七十九章 固油 防敗法
○卷十八
第二百八十章 錫布 藥用錫布 琳滴括套 煮錫布括套 斑錫布 勿的律出母
第二百八十一章 乾性油 餘法括套 拷察壩圖解 福
第二百八十二章 精油 消酸
第二百八十三章 精油和酸化塩酸加里
第二百八十四章 精油和酸化塩酸加里 羯布羅酸
第二百八十五章 羯布羅 蒟刺巴華尔斯
第二百八十六章 華尔斯 蒟刺巴華尔斯
第二百八十七章 華尔斯之用 勿尔尼斯

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

第二百八十八章 蘧模華尔斯
第二百八十九章 澱粉 沙古米澱粉 赤澱粉 黄澱粉
第二百九十章 澱粉稟性
第二百九十一章 麩觝膠
第二百九十二章 會剌斯知加 溶解法
第二百九十三章 材分
第二百九十四章 色分 開色劑 添劑 植色 紅 墨水
第二百九十五章 蠟 漂白法 分離蠟分法

萬隆氏曰植體ノ成分ハ予ガ著ス舍密書卷二。四百四十葉（ヨリ）至二六百八葉（ニ）其間縷々説得頗詳ナリ

植物成分

(一)合藥舍密（ニ）云植物ハ機性體ナリ之ヲ山物等ノ無機性體ニ較レバ其近成分ノ數多シト雖モ遠成分ノ數ハ甚タ少シ即チ酸炭水ノ三素ヲ通常遠成分トシ窒素燐。硫。加里。曹達。加爾基。酸

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

化鐵酸化滿俺珪土礬土苦土弗耳乙酸等ヲ偶然成分トス」

○佛蘭西國醫亞齊爾列利沙爾度ガ植學創新千八百三十年我天保元年和蘭譯刻公動植ノ成分ヲ參互對較セル表アリ其大意ヲ切譯シ私ニ締裁メ左ニ附記ス

植物

窒素　蕈屬或有之

炭素　多ク於動物ニ之

伊阿曺母　多ク於動物ニ特生ス

燐　或種ノ植物ニ有之

動物

多ク於植物ニ之

燒後之炭、靜脉之血、有色之部分ニ之

含之者稀ニ

多ク於植物ニ特生ス

加里　多ク於動物ニ之

曹達　多ク於動物ニ之

譜摸尼亞　含窒素ヲ者有之

珪土　在木本之植物ニ

加爾基

醋酸　通有リ

蓚酸　同上

澱粉　趫謨　材分　糖

脂酸　通有リ

和酸ニ而在液中、如膽液ノ有鹽酸加里、曹達ノ

多ク於植物ヨリ殆ンド分離ス

在玻禮布之室蛤蠣螺貝之介ノ

同上

之類、成於三素ヨリ者、特生

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

規尼涅　聖叔尼涅　莫爾比涅　斯多列悉尼涅之類、所成於三素之亞爾加羅乙甸特生ス青酸　麩勒　酵分　藍澱之類、成於四素ヨリ者

粵幾斯分第二百六十三章

オイトテレキスル、アン、プラント、エキスタラクチーフ、スト、粵幾斯　原名粵幾斯答剌屈多ハ今簡ニ從テ爾云ハ草木ノ杵汁。或泡湯。或煮汁ヲ煎熬ノ膏ト爲ス者ノ總稱ナリ赭色ニメ粘リ其味多ハ苦シ葛氏舍密云、粵幾斯ハ舍密家ニテハ搾汁ヲ煎熬シタル者ヲ謂ヒ合藥家ニテハ煮汁ヲ煎熬シタル者ヲ謂フ　○粵幾斯分ハ水ニ溶ケ湯ニハ尚溶易シ故ニ幾那煮汁ノ如キハ澄明ナレ𪜈冷レバ溷濁ス又燒酒。亞爾加里ニ溶ケ酸精ニハ溶ケズ好テ大氣ノ水濕ヲ喰テ潮解ス其水ニ溶ケタルニ酸化鹽酸ヲ加レバ沈澱ヲ生ス此澱ハ復タ水。燒酒等ノ物ニ溶解セズ　○篤隆氏曰此章所謂ノ者ハ純一ノ粵幾斯分ニ非ス或ハ鹽類ヲ含ミ或ハ粘分アリ此等ヲ除テ始テ之ヲ眞ノ粵幾斯分ト謂ベシ此ハ其性水ニ溶易シト

雖モ氯酸ニ遇ヘバ華爾斯性ニ變シテ復タ水ニ溶解セス草根木皮ノ煎汁ヲ蒸散スルキ湯面ニ膩樣ノ暈膜ヲ現スルアリ此暈膜ハ是此分。氯酸ヲ引テ華爾斯ニ變タル者ナリ又粵幾斯ノ好テ大氣ノ水濕ヲ喰テ潮解ルハ粵幾斯中多少ニ醋酸加里ヲ含ガ故ノミ粵幾斯分固ヨリ泛潮ノ性アルニ非ス

○合藥舍密云粵幾斯分ハ大抵水。燒酒ニ溶ケ亞爾箇兒。亞的兒ニハ溶ケズ酸化金屬殊ニ錫鉛鹽類ニ親和シ又礬土ニ親和スルアリ（按ニ粵幾斯分、粘分ノ有無或ハ亞謨斯的爾達謨屈ヲ試ルニハ溫製消酸煩液液ヲ用フ其製方ハ外篇ニ出）

○合藥舍密。蒲公英粵幾斯製法

蒲公英根ヲ連テ掘リ水洗シ搗爛シ搗泥一比ニ水二比ヲ加ヘ少ク煮テ布袋ニテ搾リ滓脚ニ又水ヲ加テ搾リ本汁ニ合シ濾過シ錫鍋ニ煮テ六分ノ一トシ煎汁一比ニ筧テタル蛋清一个ヲ攪セ煮テ濾過シ蛋清ヲ加ヘ煮ルハ所含ノ澱粉ヲ除ガ爲ナリ文火ニ煮テ蜂蜜ノ稠トス○上法ニテ製タル粵幾斯ヲ都テ粵幾斯答剌窟多。印爾剌義涅斯ト呼フ

多液ノ草ハ搗泥ニ水ヲ加ヘズノ絞リ濾過セス極テ

文火ニ煮テ蜜ノ稠ト ス ◯雙鸞菊。菲阿斯失亞密顚茄ノ粤幾斯。皆此法ニテ製スベシ醫家或ハ蛋清ヲ以テ綠澱粉第二百八十九章ヲ除テ後。煎熬スル法ヲ良トスル者アリ故ニ藥局ニ兩般アリテ醫家ノ所好ニ應ス

葛氏舍密製藥用粤幾斯括套

乾葉乾花ハ半時同量ノ水ニ煮。乾根ハ八分ノ水ニ煮テ半ヲ減シ其渣ヲ再ヒ六分ノ水ニ煮テ半減シ第三煮ニ減シ材皮ノ類ハ十分ノ水ニ煮テ半減シ第三煮ニ及ビ右煮汁ヲ合メ一夜靜定シ絨布ニテ漉シ淺鍋ニテ緩火ニ煮テ舍利別ノ稠ニ至リテ火ヲ下シ微溫ノ時其容ハ分一ノ燒酒ヲ加勻シ瓷油無キ陶壺ニ納レ夏ハ日光ニ曝シ冬ハ煖室ニ置テ乾シ貯フ燒酒ヲ加フルハ華爾斯ヲ溶シ且腐敗生黴ヲ防ガ爲ナリ

粘液趯謨第二百六十四章

ミュシラゴ　ブランテレス　レイム

植物ノ粘液乾枯スル者ヲ趯謨ト名ク亞剌比亞趯謨粒小ニメノ黄氣ヲ帶ブ其粒大ニメ白キ者ヲセ子ガルゴム」ト名ク蓋シ同物ノ如シ味無ク碎ケ易シ水ニ溶テ黏糨膠樣ノ液ヲ爲ス亞爾箇兒ニハ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

溶解セズ○水ニ溶シ醋酸鉛ヲ和スレバ沈降物ヲ生ズ
○又一等ノ粘液アリ常ノ粘液ヨリ粘氣薄シ草木ノ發芽或嫩苗某種ノ樹汁葵根撚梼核等ニ在リ大氣ニ中レバ酸ニ化ス（按ニ梧桐、亞麻子、車前子、白芨、麥門冬、ノ粘液モ此ニ屬ス）
㊀合藥舍密云蘧蒢ハ水炭酸ノ三素及少許ノ加里ヲ以テ成ル○翰海云粘液ヲ餾スレバ水ト少許ノ油ヲ滴シ炭酸瓦斯ヲ發シ黑炭殘ル炭中ニ炭酸加里炭酸加爾基燐酸加爾基ノ三物アリ又一種ノ酸精出之ヲ焦粘酸（アシヂュム、ペイロ、ムコヒュム、ブランヂフ、スレイムヒュールト）名ク○福烏爾格羅乙植酸ニ消酸ヲ和メ熱ヲ生シ

酸味ノ白粉ヲ沈降セリ之ヲ粘酸（アシヂュム、ムコヒュールト名ク
合藥舍密云櫻膠達剌侃多ハ蘧蒢ノ類ニメ蘧蒢ニ非ス之ヲ攝剌西紐母（サクシン）ト名ク二物共ニ成分ノ比例
蘧蒢ト異ル者ナリ
糖第二百六十五章
糖（サカルム、クイクル）ハ水ニ溶易ク亞爾箇兒ニ稍溶易カラズ火ニ燒ケバ膨脹メ烟ヲ發シ炭ト爲ル
○合藥舍密云植物大抵皆糖分アリ殊ニ甘味ノ果

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

蕊葉ニ多シ然ト純一ノ糖ニアラズ一種水ニ溶易キ諸分ヲ含ムニ因テ糖分ヲ分チ難シ」凡糖ニ數種アリ一種絶テ晶ヲ結ザル糖アリ之ヲ粘糖（サッカリュム）ト名ク」糖モ亦水炭酸ノ三素ニ成ル刺曄西爾曰百分ハ酸素六十四分炭素二十八分水素八分ニ成ル近説ニ酸素六十分炭素三十二分水素八分〇翰海云糖ヲ餾スレバ水多ク油火シ粘液ヲ餾スルニ比レバ炭酸瓦斯炭水素瓦斯發スル」火シ餾後所殘ノ炭ハ粘液ノ炭ヨリ加里加爾基多シ〇精糖ハ冰糖ナリ橄頭ハ面六面柱晶ヲ爲ス」暗處ニテ擣碎シ或咬碎ケバ口内ニ火光閃發ス或云蓋シ所含ノ溫素光素ト共ニ散スルナリ二分ハ二百度ノ湯三分ニ溶ケ一分ハ百七十度ノ溫ヲ以テ亞爾箇兒四分ニ溶ク

糖酸蓉酸第二百六十六章

糖酸又蓉酸ト名ク製法白糖八錢ヲ列篤爾多ニ納レ消酸四十八錢ヲ注ケバ夥ク消石瓦斯（舍密原本云炭酸瓦斯ヲ雜ノ）ヲ發メ溶解ス之ヲ餾メ消酸ヲ滴シ除ケバ列篤爾多ノ底ニ晶ヲ結フ此晶ヲ水ニ溶シ煮テ再ヒ結晶セシ

アシヂュム、サカリュム、ソイクル、エール、糖酸、エーリングエール、オキサリスエール、カラーフル、エーリングエール蓉酸

メ漉紙上ニ乾ス即蓚酸ナリ
○合藥舍密ノ法ハ糖八分ヲ寛大ノ列篤爾多ニ納レ發烟消酸十二分。水三十六分ヲ注キ受器ヲ接シ接際ヲ開テ餾スレバ赤煙消石瓦斯噴發ス噴煙歇ヲ候ヒ再ヒ消酸八分。水十六分ヲ注キ又餾ノ煙出歇ヲ候ヒ列篤爾多ニ殘ル清液ヲ玻瓈碗ニ寫シ放冷スレバ蓚酸凝テ晶ヲ為ス○蓚酸ハ價貴シ之ヲ製スルニ多分ノ消酸ヲ費ス故ナリ葛氏ハ糖一分消酸七分ヲ以テ蓚酸三錢十氏半ヲ得タリト記ス

蓚酸性質第二百六十七章

蓚酸ハ備ニ酸性ヲ具足シ能ク水ニ溶解ス煆ケバ炭ヲ殘ス亞爾加里ニ和メ中性鹽ヲ為ス
○蓚酸ハ酸味極テ酷烈ナリ七氏ヲ以テ二比ノ水ヲ酸味ナラシム葛氏云一氏ヲ水二分ニ溶ス者ハ其酸味常用ノ葡萄醋ニ匹儔スベシ○晶形四面駢胎柱其二面ハ狭ク二面ハ濶シ此酸ハ糖ノ褐色ヲ祛ク奇性アリ故ニ淨白ノ舍利別ヲ製スルニ必ス之ヲ加ス○蓚酸ハ水炭酸ノ三素ニ成ル翰海ニ水素十分炭素十三分酸素七十七分ト云蕤布彝業爾曰。亞量酸素七十亞。炭素二十六亞。水素二亞。

蓚酸加爾基第二百六十八章

カルキス、オサリキュム
ミューリレグミューレ、カルキ

蓚酸ハ好テ加爾基ニ親和シテ蓚酸加爾基ト爲ル試ニ蓚酸少許ヲ水ニ溶シテ一盞ノ石灰水ニ滴スレバ便チ不解ノ澱ヲ生シ或ハ硫酸加爾基。鹽酸加爾基ノ溶液ニ加レバ其硫酸鹽酸ヲ驅排ノ其加爾基ニ和メ沈澱ヲ生ス其澱ハ蓚酸加爾基ナリ

○輸海云蓚酸ハ諸ノ受酸元素。就中加爾基ニ親和ス第百四十四章世ニ酷烈ノ酸類多シト雖モ蓚酸加爾基ヲ復タ分離スルニ足ル酸無シ此ニ因テ加爾基鹽

類ヲ含ム泉水ノ試藥ニ用フ」尚外篇ニ詳ナリ

自然酸及酸汁第二百六十九章

ナチューレルレーキ、プラントミールレン
ミールアクチケ、サッペン

自然酸ハ莖葉果實ニ在ル天生酸味ノ液ナリ之ヲ搗キ搾リ或ハ他法ヲ以テ容易ニ得ベシ卽チ枸酸。沒食酸。檸檬酸。酒酸。安息酸。酸性蓚酸加里是ナリ

○按ニ輸海ニ植酸ヲ五綱ニ別テリ一ヲ自然酸ト曰フ天生酸味アル者ナリ沒食酸。安息酸。虎白酸。檸酸。枸酸ナリニヲ植性半酸ト曰フ酸殆ド加里ニ飽和スル者ナリ酸性蓚酸加里。酒石等ノ如シ三ヲ焦

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酸ト曰フ植体燒焦ノ際出ル酸ナリ焦酒石酸。焦粘酸。焦木酸ノ如シ四ヲ人爲酸ト曰フ粘酸。羯布羅酸。鳩爾苦酸。人爲檸酸。酒石酸。蓩酸。ノ如シ五ヲ酵酸ト曰フ植液酵釀ノ生スル酸ナリ醋酸ノ如シ

枸酸第二百七十章

アシヂユム、シトリキユム、シンヒール按ニ橙柚ノ酸汁此屬ス

枸酸ハ枸櫞。梨檬子（リメン）ノ汁ニ在リ但シ粘液及粤幾斯分ヲ含ンテ純ナラズ○純枸酸ヲ製スル法ハ其果ノ搾汁ニ炭酸加爾基末ヲ投メ白澱生シ盡ルニ至ル澱ハ卽チ枸酸加爾基ナリ之ヲ水洗メ稀硫酸ヲ注加フレバ硫酸ハ加爾基ニ親和シテ硫酸加爾基ト爲テ澱シ枸酸ハ游離メ上澄ヲ爲ス之ヲ漉テ蒸散シ冷セバ端正ノ晶芒ヲ結フ此枸酸ナリ○枸酸晶ヲ水ニ溶セバ精列ノ枸櫞汁ナリ

○按ニ本説ハ悉肹列ノ法ニ據レリ枸酸汁百錢加爾基六錢二分半ヲ飽シメ水百錢硫酸十錢ヲ加ヘ酸晶六錢有奇ヲ得ベシト云

廣義云蘇亦齊（ゼ）入阿爾（オル）及斯（ス）ノ法ハ枸櫞汁ヲ壜ニ滿盛シ塞テ例置スルコト數日。塞ヲ放テ粉分ヲ泄シ棄其清汁ヲ列氏凍點以下ノ寒氣ニ曝セバ水分凍結

ス。之ヲ去ル。數回如此メ本量八分ノ一ト爲ス此酸
常枸酸ヨリ強キコト八倍ナリ一分以テ八分ノ加里
ヲ飽シムベシ
枸酸晶ハ熱ニ融ケ氣ニ潮リ甚タ水ニ溶易シ氣溫
六十八度ノ時此晶百二十分。水七十五分ニ溶ケ其
水寒ヲ生ス此溶液ハ久貯レバ粘渣ヲ生シ醋酸ニ
變シ終ニ無味ノ水ト爲ル○晶四十氏ヲ一壜水ニ
溶シ蔗糖。枸櫞皮油ヲ調和スレバ至好ノ里沒奈埵
ト爲ル○蘋布蓉葉爾曰枸酸ノ亞量ハ酸素五十九
亞。炭素三十三亞。水素ハ亞。或云炭素四亞。水素二亞。
酸素四亞ニ成ル
蘋氏舍密云此酸ハ悉腊列氏枸櫞汁ニ於テ創テ異
性ヲ見シニ由テ枸酸ノ名アリ然ヒ橙橘柑柚ノ類
答麻林度未熟ノ葡桃梨蘗子蜀羊泉實杜衡根モ之
ヲ含メリ但專ラ此酸ノミナラズメ檸酸酒酸ヲモ
兼有セリ○此酸拔塞斯ニ和ヲ枸酸鹽シトラヲ爲
ス各下ニ開列ス
枸酸加里シトルーレ、ポツトアス
シトラス、ポツトアシキュス
蒲剌孔納多白亞古尼去謨列古苦多紐母雙鸞菊歇
里安去斯。去別羅須斯根。辣茄ニ此鹽アリ此鹽ハ氣

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

二中ヲ潮リ極テ晶ヲ結ヒガタシ味鹹ク稍苦シ◯
藥用ノ者ハ枸櫞汁ニ炭酸加里ヲ飽和シ製ス我術
ニ用ル者ニ比スレバ其製法粗略ナリ
枸酸曹達シトルーンシュレ、ソウダ
シトラス、ソーヂキュス
玲瓏ナル六面柱ヲ爲ス氣ニ中レバ微ク風化ス四
分三ノ水ニ溶ク味鹹シ
枸酸諳謨尼亞シトルーンシュレ、アムモニア
シトラス、アムモニキュス
甚タ溶易シ蒸散メ舍利別ノ稠ニ至レバ晶ヲ結ブ
味清涼ニノ鹹クヤヽ剌戟ス
枸酸斯多侖知亞那シトルーンシュレ、ストロン
チアナ　シトラス、ストロン
チキュス
溶ケ難シ溶液ヲ煮レバ光輝アル細晶沈降ス
枸酸加爾基シトルーンシュレ、カルキ
シトラス、カルシキュス
剌斯蒐倔涅ノ說ニ此鹽ハ杜衡根、攝里獨紐毋、尾老
屈毋白屈菜、山ブキサウノ類ニアリト云ヒ蒲剌孔納多ハ歇里
安去斯去別羅須斯根モ之ヲ含ムト云フ◯水ハ五
百分ヲ須テ方纔テ溶ケ湯ニハ稍溶易シ其溶液ハ
亞爾加里ヲ試ムベシ過酸ノ者ハ溶易ク亦好ク晶
ヲ結ブ氣ニ潮解スルニ任セ或ハ故ニ濕氣ニ中レ
バ做黴ベシキムメレシ凡ッ植酸、水ニ和メ日ヲ經レ
多ハ其性變敗スルナリ之ヲ做黴ト謂フ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

レ白ラ分離ノ炭酸加爾基ト爲ル

枸酸苦土（シトルーンヒューレ、マグネシア シトラス、マグネシエ）

殆ト水ニ溶ケス過酸ノ者ハ溶ク蒸散スレバ蘘謨ノ如キ塊ヲ爲ス

枸酸亞酸化錬（シトルーンヒューレ、エイズルオキセイデ シトラス、アルロキュス）

細晶。溶液赭色ナリ蒸散スレバ黑クメ墨汁ノ如シ全ク乾ケバ黑粉ト爲ル

柔軟ナルヿ華爾斯ノ如シ

枸酸全酸化錬（シトルーンヒューレ、ペルオキセイデ シトラス、アルリキュス）

甚タ溶易フメ晶ヲ結バズ蒸散スレバ赭色ノ泥ト爲ル○藥用ノ者ハ錬屑ヲ枸櫞汁ニ溶レ煮テ粤幾斯劑ノ如クス製法精シカラズ

枸酸亞鉛（シトルーンヒューレ、シンキ シトラス、レンキュス）

白晶ナリ水百分ヲ以テ僅ニ一分ヲ溶スベシ

枸酸嘉度密烏母（シトルーンヒューレ、カドミウム）

稟性上物ニ同シ

枸酸鉛（シトルーンヒューレ、ロード シトラス、プラムビキュス）

白キ粉狀ノ晶ヲ爲ス水ニ溶ケズ炭酸謨摸尼亞水ニ溶ク蒸散スレバ蘘謨ノ如シ

枸酸全酸化銅（シトルーンヒューレ、コーペルオキセイデ シトラス、キュプリキュス）

綠色ノ晶ヲ結べリ水ニ溶ク

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

枸酸亞酸化頑シトルーンシュール、クヰキオキセイデュレシトラス、ヘイドロゲーロシュス

白鹽ナリ水ニ溶クベカラズ消酸ニハ溶易シ

枸酸全酸化頑シトルーンシュールレクヰツキオキセーデ

此モ白鹽ニメ水ニ溶クベカラズ乾餾スレバ醋酸ト炭酸トヲ發シテ炭素ト生頑トヲ器底ニ殘ス

枸酸銀シトルーンシュール、シルフルシトラス、アルゲンチキュス

水ニ溶ケズ氣ニ中レバ黑色ニ變ス乾餾スレバ醋酸ヲ發シ器底ニ炭素ト生銀ヲ殘ス

○以上十五種ノ外枸酸鹽無シ

沒食酸第二百七十一章

アシデュム、ガルリキュム　ガルノート、シュール
ガルロイスシュール　ガルルュス、シュール

沒食酸ハ沒食子ノ酸ナリ製法沒食子ノ浸汁ヲ大氣ニ曝セバ面ニ黴皮ヲ生シ月餘ニメ器ノ裏面ニ黄色ノ細苙晶ヲ結ブ此晶ヲ亞爾箇兒ニ溶シテ靜定スレバ汚物沈ム其上清ヲ煮乾ス

○按ニ本說ハ悉肬列ノ法ナリ一法ニ沒食子細末一分ニ水六分ヲ注キ七八十度ノ溫處ニ浸ヿ十四日漉テ寬平ノ盂ニ寫シ氣ニ露ヿ二三月鹽苙結ブヲ取リ溫タル亞爾箇兒ヲ注テ鹽苙ヲ溶シ漉テ清

ヲ蒸散シ微黄ノ細晶トス
又昇華法アリ没食子ノ粗末ヲ列篤爾多ニテ文火ニ
乾餾スレバ其酸。華ト為リ昇テ列篤爾多ノ頸ニ著ク
○按ニ此題歐西氏ノ法ナリ揩曽テ此法ニ據テ五
倍子ヲ昇華シ銀光瑩白ノ輕絮ヲ得タリ試藥ニ用
テ其効没食酸ト同シ○別爾多爾列篤曰悉胠列ノ
没食酸ハ單寧ヲ含テ純精ナラズ題歐西氏ノ法尤
優レリ凡没食酸ニ含ム單寧ハ酸化錫ヲ以テ分チ
除クベシ

附録

單寧 マテリア、シケイトデプシカロ ーイストフ消革分ローイヱン
デベギンスル サーメンテレッケンデベ ギンスル澁味分 佛蘭西名タンニン
單寧ハ植物澁味ヲ為ス分ナリ攝牛膺氏曽テ偶、石
灰水ヲ以テ没食浸ヲ製セシニ其澁味盡ク沈降セ
シヨリ此分アルヿヲ悟レリ又此分ハ動物ノ膠ト
親和ス此ヲ以テ獣皮ヲ消軟スベシ 第三百十一章 此分ニ
消革分ノ名アル所以ナリ
分單寧法 没食子ノ煮湯ニ鹽酸錫液ヲ滴スレバ
雲埿ヲ生ス埿生シ歇ニ至ベシ其埿ハ即單寧ト酸
化錫。上清ハ没食酸ト鹽酸ナリ其埿ヲ緻布上ニ置
テ水ニテ淋洗シ玻瓈壺ニ納レ餾水ヲ和シ硫水素

国立国会図書館 タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

兎斯ヲ通スレバ酸化錫ハ硫ニ和メ沈ミ單寧特リ
氷ニ和メ上清ヲ爲ス其水氣ヲ蒸散メ赭色固燥ノ
塊トス卽チ單寧ナリ○又法沒食煮湯ニ半炭酸加
里ヲ加レバ灰白ノ雲狀生ス亦單寧ナリ○幾那鹽
說曰幾那赤色分ヲ幾那赤ト謂フ二樣アリ一ヲ不
可溶赤分。一ヲ可溶赤分ト名ク卽チ單寧ナリ單寧
ハ膠汁或韃爾答律斯粵默知究斯ニ因テ分テ沈降
ス故ニ幾那ハ韃爾答ニ配合シ用レバ効無ク韃爾
答モ幾那ト同ク用レバ亦其涌吐ノ駿効ヲ喪フト
云醫家知スハ有ベカラヅ

合藥舍密云單寧ハ味澁メ微苦一種臭アリ乾ケバ
栗殼色。碎末スベシ氣ニ中テ潮軟シ水。亞爾箇兒共ニ
溶易シ鐵ニ和メ黑色ヲ發スルヿ沒食酸ノ如シ常
ニ沒食酸ニ連結ノ植體ニ在リ二物相似テ其性質
迥ニ異ナリ廣義ニ二物區別ノ大略ヲ擧テ云沒食
酸ハ味酸ク晶形ヲ爲シ鎁ヲ美黑色ニ
變シ膠ヲ制セズ單寧ハ味澁少越幾斯
狀ヲ作シ鎁ヲ暗黑ニ變シ膠ヲ制伏ス

沒食酸性質第二百七十二章

沒食酸ハ水二十四分。湯三分ニ溶ク亞爾箇兒ノ冷者
ハ自量四分ノ三ヲ溶シ溫ル者ハ同量ヲ溶ス酸性ア
リ勒佉母斯浸ヲ紅變シ鎁液ニ和メ黑色ヲ發ス

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

◯輸海云沒食酸ハ八面晶段層様或云光輝アル薄片ヲ爲ス

蘵氏舎密云沒食酸ハ硫酸ヲ以テ醋酸ニ變シ消酸ニ由テ蓚酸ト爲ル◯亞量ハ六十三ニ等シク成分ハ炭素六亞。水素。酸素。各三亞即チ生油兎斯三亞。酸化炭三亞ナリ◯此酸拔塞斯ニ和ソ沒食酸鹽ガルラテスヲ爲ス此鹽水ニ溶ル者少シ就ヒ溶ルモ溶液氣ニ中レバ分離ス其全酸化銕ニ和スル者ノ如キ黑色不解ノ鹽ヲ爲ス卽チ常用墨汁ノ原醅タリ但シ銕液甚タ稀キ片ハ紫紅ト爲リ少ク稀キハ菫花紫。極テ稠キハ黑色ヲ發スルナリ

附錄 會爾刺偎酸エルラグ、ヒュール ヒュルラグヒュールアシデム、エル ラギ名

此酸ハ千八百十五年文化十二年施弗妻爾者悉肬列ノ法前章ニ出ニ倣ヒ沒食酸ヲ製スルニ方テ偶然ニ發明スル所ナリ此沒食子中固有ノ者ニアラズ浸液ト爲テ方纔テ生出シ來ル者ナリ後來蒲刺孔納多モ亦此物ヲ得テ試驗再三ニメ創テ此名ヲ命ゼリ蒲氏

自註云、會爾刺偎ハ沒食子ノ佛蘭西名、兎爾列ノ文字ヲ顚倒セルナリ蒲古爾斯モ亦其例ニ倣ヒ沒食子ノ邦語兎爾律斯ヲ倒讀シテ須爾刺偎酸ト名ク命名ノ原旨、甚タ奇異ナリト謂ベシ○榕按ニ従來

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

既ニ沒食酸アリ亦復此ヲ沒食酸ト名クルヿ能ハズ故ニ沒食子ノ名ヲ顯倒シテ酸字ヲ屢セシメタリ

㊀此酸ヲ得ル法ハ悉肹列氏沒食酸ヲ製スル法ノ如ク沒食浸ヲ數日放置スレバ做黴シテ酸晶ヲ結ブ其晶ヲ沸湯ニ溶セバ灰色ノ粉塗ヲ稀キ加里液ニ溶化メ氣ニ曝セバ氣中ノ炭酸ヲ引テ珍珠母ノ光彩アル屑片ト爲ル此レ所謂會爾剌倔酸ノ加里ニ和スル者ナリ此屑片ニ稀キ鹽酸ヲ注テ加里ヲ離セバ特リ此酸ノミ黃灰色ノ粉ト爲テ殘ル㊀此酸ハ水湯亞爾箇兒亞的兒ニ溶ケズ勒佉母斯ニ試テ僅ニ酸黴アリ列篤爾多ニテ熱スレバ一分ハ分離シ黃綠明亮ノ針晶ヲ結ヒテ炭素ヲ殘留ス其針晶ノ稟性未タ詳ナラズ試ニ火焰ニ摻スレバ能ク燃ユ然ヒ火花ヲ發セズ豫メ略微熱ニテ分離シテ消酸ヲ和スレバ紅色ヲ發シ竟ニ血紅ト爲リ醋酸ヲ生ス㊀拔塞斯ノ和合成分詳ナラズ唯加里曹達ノ和合ハ水ニ溶ベカラズ其拔塞斯過大ナレバ溶クベシ諳摸尼亞ト和スルハ拔塞斯過大ナルモ溶ベカラズ加之此物酸名アリト雖モ果メ酸ナルヤ否モ亦知ベカラズ來者ヲ俟テ決定センノミ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

檸酸第二百七十三章

アレヂユム、マリキユム、ビキユム、乃プルシユール

檸酸ハ林檎ノ酸ナリ弗剌毋暴鮮苺名等ノ諸果ニ在リ

○分二檸酸一法ハ其果汁ヲ煮テ乾シ亞爾箇兒ヲ和スレバ檸酸ハ亞爾箇兒ニ和メ粘分ト分ル若シ枸酸ヲ雜ル者ハ此モ亞爾箇兒ニ溶和ス○此二酸ノ溶和セルヲ分ツ法ハ溶液ニ加爾基ヲ加テ飽ムレバ澱ヲ生ス此澱ヲ沸湯ニテ洗ヘバ檸酸加爾基ハ溶テ澄ト爲リ枸酸加爾基ハ殘ル而後其澄ニ硫酸ヲ加テ其加爾基ヲ硫酸加爾基トシ澱メテ檸酸ヲ分離シ得

○悉肶列分二檸酸一法　林檎汁ヲ綿布ニテ漉シ加里或曹達ヲ加テ飽ムレバ酵ヲ和メ稀クシ此ニ醋酸鉛液ヲ加フレバ複擇親和第十二章ニ由テ檸酸ハ鉛ニ和メ檸酸鉛ト爲テ沈ミ醋酸ハ加里ニ和シ醋酸加里ト爲テ澄ム其沈著ノ檸酸鉛ヲ水洗シ之ニ稀硫酸ヲ加フレバ硫酸ハ鉛ニ親和シ不解ノ硫酸鉛ト爲テ沈ミ其澄中ニ檸酸アリ

蘋氏舍密云此酸ハ林檎ノミナラズ索爾蒲斯亞烏究抜里亞索爾蒲斯ハ百網ノ終網ニ收ム、カマド、棠梨ノ諸種ヲ屬ス梅李ノ類。接骨木子。等ニ有リ悉肶列ノ法ヲ以テハ精好ノ者

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ヲ得ズ獨奈漢ノ法ヲ良トス○其法索爾蒲斯果汁ヲ煮テ沈渣ヲ去リ炭酸鉛ヲ飽和シ或ハ醋酸鉛ヲ加テ沈降シ沈ミタル檎酸鉛ヲ數回水洗シ之ヲ餾水ノ沸湯ニ溶シ熱ニ乘メ濾シ濾澄ヲ放冷スレバ檎酸鉛ハ白色光輝アル晶ヲ結ブ此晶ヲ復タ湯ニ溶メ結晶セシメ務テ精潔ノ晶ヲ取リ細末シテ水ヲ加ヘ硫水素酸ヲ以テ分テバ硫化鉛ハ沈ミ檎酸ハ澄ヲ爲ス澄ヲ文火ニ煮テ舍利別ノ稠ニ至リ放置メ仍蒸氣ノ散逸ニ任セバ檎酸晶ヲ結ブ

檎酸性質第二百七十四章

檎酸ハ結晶セズ其鹽類モ亦晶ヲ結バズ

○按ニ此悉胎列ノ法ヲ以テ取タル者ヲ謂ナルベシ舊說ニ檎酸ハ赭色ノ粘液ニメ氣ニ乾ケバ光潤明亮ノ薄膜ト爲ル故ニ或ハ勿爾尼斯類ニ代テ物什ヲ漆ルベシト云今日ノ者ハ能ク晶ヲ結ブ

蘊氏舍密云精好ノ檎酸ハ白キ細晶ヲ結ビ臭無ク酸味甚シ氣ニ潮解シ水ニモ亞爾箇兒ニモ溶解ス煅ケバ烊化メ分離シ焦檎酸ノ煙ヲ發メ鼻目ヲ刺戟ス○成分未タ詳ナラズ弗羅謨默爾子ハ炭素七亞。水素十四亞。酸素十二亞。百分ハ酸素九五又九五

水素四又ハ一。炭素二九又三五、（原文斯ノ如ト云ヒク算合ハズ）ト云ヒ
獨別列乙涅爾ハ酸素六亞。水素三亞。炭素四亞ト云
ヘリ
又云。此酸拔塞斯ニ和メ或ハ酸鹽或ハ中鹽ヲ爲ス
大抵能ク水ニ溶ク但シ中鹽ニテ水ニ溶難キハ酸
鹽ト爲レバ溶ケ易ク中鹽ニテ溶易キハ酸鹽トナ
レバ溶ガタシ○酸鹽ハ中鹽ニ比スレバ酸多キ一倍
檎酸加里（アルミュール、ストロンチアナスポットアシキュス）
多般植物ノ汁ニ有リ溶易ク晶ヲ結バズ氣ニ潮リ
亞爾箇兒ニ溶ケズ

檎酸曹達
檎酸諳摸尼亞
二種共ニ檎酸加里ニ同シ
檎酸重土（アルミュール、バレータ、バレーチキュス）
晶ヲ結バズ酸鹽無シ○檎酸少許ヲ多分ノ重土水
ニ點スレバ拔塞斯鹽ヲ爲ス水ニ溶ケズ
檎酸斯多侖土（アルミュール、ストロンチアナス、ストロンチキュス）
水ニ溶ケ晶ヲ結バズ○酸鹽ハ細晶ヲ結ヒ溶難シ
檎酸加爾基（アルミュール、カルキス、カルシキュス）
攝需謨（ヒゼムガ景天、昨葉何草、ノ屬）佛甲草、ノ屬）默攝謨貌（ヘマトアン列安的繆母百綱ノ第九十

四ニ収ム曹達苦辣須剌ヲ焼ク草ノ名十八ニ収ム百綱ノ第九剥爾缶剌加馬齒莧此ニ屬ス
等ノ榨汁ニ有リ明亮ノ粒晶ヲ結ヒ氣ニ潮ラズ水ハ百四十八分。沸湯ハ六十五分ニ溶ク○酸鹽ハ酸味甚ク水ニ溶ケ亞爾箇兒ニ溶ケズ六面柱ヲ爲ソ水零二ニヲ含メリ○植汁ヨリ直ニ取タル者ハ晶ヲ結バズ乾ケバ護謨狀ヲ爲ス

檎酸苦土 アッペルシューレ、マグ子シア マラス、マグ子シキュス

氣ニ潮ラザル晶ヲ爲ス水二十八分ニ溶ク」酸鹽ハ護謨ノ如クニソ氣ニ潮ル

檎酸礬土 アッペルシューレ、アロイニアアールド マラス、アリュミニキュス

甚タ溶易シ勒佉母斯紙ヲ紅變ス蒸散スレバ護謨ノ如クニソ氣ニ變ゼズ

檎酸滿俺 アッペルシューレ、マンガーン マラス、マンガニキュス

甚タ溶易ク護謨ノ如シ」酸鹽ハ溶ガタク水四十一分ヲ須ツ沸湯ニ溶シ放冷スレバ玲瓏ナル玫瑰色ノ晶ヲ結ブ○般劫莽ノ說ニ此鹽ハ索剌紐母布叟度支那ノ皮中ニ有リ

檎酸亞酸化鐵 アッペルシューレ、イズルオキセーユル マラス、フェルロシュス

中酸二鹽アリ共ニ溶易ク蒸散スレバ赭色ノ護謨ノ如クニソ氣ニ潮ラズ○製法ハ鐵屑ヲ檎酸ニ溶ス

檸酸全酸化銕（アルシェーレ、ヱイズ、ルオキセーデ　マラス、ヱルリキュス）

水ニモ亞爾箇兒ニモ溶ク赭赤ニメ粤幾斯劑ノ如シ藥局ニテ粤幾斯答剌窟去母（ヱルリ）。勿爾里。又末兒（マヽ）知斯（ノウス）。舍度尼亞答（シドニアタ）ト稱ス其製共ニ精カラズ宜ク蒲古爾斯ノ法ニ從フベシ其法酸味ノ林檎ヲ擦下メ泥トシ銕屑六分ノ一ヲ和シ二三日安頓メ和劑緒黑ト爲リ銕味生スルヲ候ヒ水ヲ加テ煮沸シ濾テ濾液ヲ蒸散ス

檸酸亞鉛（アルシェーレ、シンキマラス、シンキュス）

短方柱ヲ結ブ水五十五分。湯十分ニ溶ク溶化スレバ酸鹽ト拔塞斯鹽ト二分ル（）蒲剌孔納多曰百分ノ八酸化亞鉛三一又九五。檸酸五八又零五。水一零（）酸鹽ハ大長晶ニメ水零又零八ヲ含ム煆ハ烊テ趨謨ノ如シ（）拔塞斯鹽ハ白粉ニメ酸化亞鉛四八又一一ヲ含ム

檸酸鉛（アルシェーレ、ロードマラス、プルムビキュス）

色白メ水ニ殆ト溶ケズ沸湯ニハ敢テ溶ケ溶液ヲ冷セバ光輝アル白屑ヲ結ブ此ハ湯中ノミ湯溫ヲ以テモ溶ク初メ沸湯ニ溶スニハ細末トシ少宛湯

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ニ投シ且攪セ且投スベシ否レバ凝聚メ竟ニ熟ク
溶解セズ◎成分ハ蒲剌孔納多ハ酸化亞鉛六一又
一五。檎酸三八又八五ト云ヒ獨別列乙涅爾ハ六五
又一ト三四又九ニ成ルト云ヘリ

檎酸亞酸化錫 アッペルシューレ、ティンオキセーヅュレ マリシス、スタンノシス

檎酸全酸化錫 アッペルシューレ、ティンオキセーデ マリシス、スタンニキュス

二種共ニ溶易ク晶ヲ結バズ氣ニ潮ル

檎酸銅 アッペルシューレコーペル マラス、キュフリキュス

中酸ニ鹽共ニ緑色ニメ甚タ溶易シ乾ケバ勿爾尼
斯ノ如キ物ヲ爲ス氣ニ變ゼズ

檎酸銀 アッペルシューレ、シルフル マラス、アルゲンチキュス

全酸化銀ヲ檎酸ニ和シ溫メ溶セバ則成ル初メ炭
酸瓦斯ヲ發スル間ハ赭色ナレ𪜈其後ハ色白シ其
酸ノ一分ヽ離スルニ由レリ蒸散スレバ麺謨ノ如
シ◎溶液ニ更ニ檎酸ヲ加フレバ酸鹽ト爲リ粒晶ヲ
結ブ水ニ溶ケ晶ヲ爲易シ

舍密開宗内篇巻十六終

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

舎密開宗内篇巻十七

宇田川榕榕菴　重譯増註

酒酸第二百七十五章

アシデュム、タルタリキュム全酒酸サル、エッセンチアレ、アシデュム、タルタリウェインステーン、シュールウェイン、シュール酒石酸、名物考ニ所謂酒石英

酒石羅謨酒石按ニ精製ヲ沸湯ニ溶シ炭酸加爾基ヲ加テ沸淬歇ニ至レバ沈渣ヲ生ズ即チ酒酸加爾基ナリ之ヲ水洗シテ稀硫酸ヲ注ゲバ硫酸加爾基ハ沈ミ酒酸ハ分レテ澄中ニ在リ澄ヲ蒸散メ冷セバ端正ノ晶ヲ結ブ

○按ニ此レ悉肱列ノ法ナリ加爾基一分ハ酒石末四分ヲ以テ沸湆歇ミ酒石二比ヲ以テ生スル酒酸加爾基ハ硫酸ハ弓或ハ十弓ヲ以テ分離シ酸晶十一弓ヲ得ベシト云

藕氏舎密云酒酸ハ一種ノ植酸ニメ加里ニ和メ酒石ヲ成スヿハ麻爾苦尼刺弗ニ創テ其来ルヿ遒ナリ其酸ヲ分ウ法ハ悉肱列ニ籾レリ○大抵加里ニ和メ某ミノ果實殊ニ成熟ノ葡萄ニ多シ答末林度ニハ加里ニ和セザル游離ノ酒酸アリ○悉肱列ノ製法ハ湖海名哲ノ稱用スル所ニメ良法タリト雖モ猶左ニ別ノ二法ヲ記ス

○第一法ハ酒石一分ニ炭酸加里ヲ飽和シ生石灰ハ分ヲ加テ半時ノ間煮レバ抜塞斯性ノ酒酸加爾基ヲ降ス之ヲ淋洗シテ硫酸ヲ以テ分離シ酒酸ヲ得ベシ○酒酸加爾基ヲ降シタル澄ハ精好ノ苛性加里ナリ貯テ用ベシ

○第二法ハ硫酸一分水三分ノ劑ヲ煮沸シ酒石ヲ取テ少ク過分ニ和スレバ酒酸分ル剰液ハ酒酸十酸性酒酸加里ヲ雑ル物ナリ濃煎メ亞爾箇兒ヲ和スレバ酒酸ハ溶ケ酒酸加里ハ溶ケズ

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酒酸性質第二百七十六章

酒酸ハ水ニ溶易ク亞爾加里ニ和シ易シ加里ニ飽和ノ鹽ヲ爲ス者モ能ク水ニ溶ケ飽和ヲ過ル者ハ二十倍ノ水ヲ須テ溶ク酒石羅謨ノ如シ之ニ加里ヲ加テ其過酸ヲ飽和スレバ方纔テ能ク水ニ溶ク

○藤氏舍密云酒酸ハ一舉ニ多ク製スレバ玲瓏瑩白ノ六面柱ヲ結ヒ少シ製スレバ端晶ヲ得難シ氣ニ中テ變セス酸味清美ニノ烈シ二百五十度ノ熱ニ遇バ結晶水ヲ連テ烊ケ冷レバ凝テ光芒狀ノ晶塊ヲ爲ス此以上ノ熱度ニテハ分離ス○他ノ稟性ハ枸酸ニ大ニ似テ少ク異ナリ獨別列乙涅爾曰發煙硫酸ヲ注テ煮レバ分離ノ水ト酸化炭ヲ生ス稀硫酸ト酸化滿俺ニ由テ蟻酸ト爲リ消酸ヲ加レバ蔆酸ト爲ル○水分ナキ者ノ亞量ハ七十四ニ等ク水一亞ヲ含ム者ハ八十三ニ等シ水分無キ者ノ成分ハ炭素四亞。水素二亞。酸素六亞

酒酸鹽タルトラテス中鹽ニ一倍量ノ酸ヲ含メバ酸鹽ト爲ル溶ケ難キ中鹽。酸鹽ト爲レバ溶易シ

酒酸加里タルトラス、ポットアシ、カリ、タルタリキュス、酒酸曹達タルトラス、ソダ、タルタリキュス、タルタリサ五ス孛鹼酒石タルタリス、ソダビレ植鹽リル、左ゲタビリス和蘭所呼

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酒酸ノ中鹽ナリ製法。加里ヲ水五六分ニ煮溶シ滾
沸ニ乘ノ酒石細末少許宛ヲ加テ沸淬歇シ其液勒
佉母斯紙ヲ紅變セズ薑黄紙ヲ變ゼザルニ至リテ
濾過シ或ハ煎乾シ或ハ結晶シ緊口壜子ニ貯フ〇
此ハ結晶シガタシト雖モ多分ニ製スレバ晶ヲ爲
ス氣濕ヲ引テ潮解ス〇薄弱ノ酸精ト雖モ此ニ和
スレバ常ノ酒石ニ變ス故ニ醫家此鹽ヲ配スル方
劑ト答末林度。醋。蜂蜜等ノ酸物ト倂セ用フ勿レ

酸性酒酸加里ビ、タルトラス、ポットアシ
ペル、タルトラス、ポットアシサー　タ
ルトラス、アシヂュラ、ポットアシサー　タルタルス
ケインステーン酒石〇ケレモルタルタルタリ酒石
羅謨ゲソイフルデ、ケインステーン精製
酒石ケインステーン、キリスタルレン

葡萄酒ヲ釀ス桶中ニ自ラ結生ス但シ土分。粘液。色。
分等ヲ雜テ精好ナラザルニ由テ古ハ之ヲ再ヒ水
ニ煮溶シ湯面ニ漚ム鹽膜羅謨トヲ名ク。ヲ抄ヒ取ル故ニ
酒石羅謨ノ名アリ

酒酸曹達タルトラスソヲデ　ムス

方柱或ハ針ヲ爲ス氣ニ變ゼズ溫レバ粉化ス水ハ
八分。湯ハ二分不及ニ溶ク亞爾箇兒ニ溶ケズ〇酸
過大ナレバ酸鹽ヲ爲スユ酒酸加里ノ如シ味酸ノ
稍鹹シ晶形ハ製法ノ異同。放冷ノ遲速ニ從テ定無

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酒酸譜摸尼亞タルトラス、アムモニキュス
方柱晶ニメ味消石ニ類シ氣ニ中レバ譜摸尼亞。飛散メ風化ス水ニ溶易シ○酸鹽ビタルトラス、アモモニキュスハ水ニ溶ガタシ○中鹽ハ瑞國（スエヂア）ノ醫家。其溶液ニ琥珀油ヲ和メ治病ノ効ヲ稱ス
酒酸重上タルトラス、バレーチキュス
細粉ナリ。殆ト水ニ溶ケズ○酸鹽ハ能ク溶ク
酒酸斯多侖土タルトラス、ストロンチキュス
前種ト同シ但稍溶易シ
酒酸加爾基タルトラス、カルシキュス

製法。酒酸ノ章ニ出○白粉ニメ水六百分ヲ須ヒ方ニ溶ク自然ニ葡萄汁ニ有リ故ニ酒石モ此鹽百分ノ一若クハ一半ヲ含メリ煆ケバ烊解セズメ二十倍ニ膨脹ス○酸鹽ビタルトラス、カルシキュスハ溶易シト雖モ端正ノ晶ヲ結バズ○抜塞斯鹽ハ溶ガタシ製法ハ酒酸別製法ノ第一法ニ見ヘタリ
酒酸苦土タルトラス、マグネシキュス
水ニ溶ケズ○酸鹽ハ漸次ニ煮レバ六面針ヲ爲ス。
酒酸礬土タルトラス、アルミニキュス
趪謨ノ如シ氣ニ潮ラズ溶ケ易シ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酒酸亞酸化滿俺タルトラス、マンガノシュス

酒酸加里液ニ鹽酸滿俺スロル、マンガーン液ヲ和スレバ初メ酒石少許沈ミ放冷ノ後細白晶ヲ結ブ卽此鹽ナリ之ヲ沸湯ニ溶セバ不可溶抜塞斯鹽ト可溶酸鹽ト分レ生ズ

酒酸亞酸化銕タルトラス、フェルロシュス

酒酸ニ硫酸亞酸化銕液ヲ温メ和スレバ放冷ノ後葉片晶ヲ結ブ」水ニ少シ溶ク（）銕屑ヲ酒酸ニ溶セバ白粉ヲ生ス此粉ハ結晶水零一三ヲ含ミ水ハ四百二十六分。湯ハ四百零二分ニ溶ク」或濡リ或ハ氣ニ中レバ更ニ酸化メ此鹽ト爲ル

酒酸全酸化銕タルトラス、フェルリシュス

晶ヲ結バズ暗赭色ニメ溶易シ

酒酸格抜爾多タルトラス、コバルチキュス

紅色玲瓏ノ晶ナリ溶易シ

酒酸亞鉛タルトラス、ジンキュス

白粉ナリ水。亞爾箇児ニ溶ケズ

酒酸嘉度密烏母タルトラス、カドミキュス

纖細柔軟ノ針ヲ爲ス水ニ溶ガタシ

酒酸鉛タルトラス、プリュムビキュス

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

白粉ニメ晶水無シ熾熱スレバ即チ分離メ炭酸水。
焦酒石油ヲ生ス
酒酸亞酸化錫タルトラス、スタンノシュス
錫液ヲ酒酸ニ和スレバ水素瓦斯ヲ發メ小針晶ト
爲テ生ズ水ニ溶ケズ
酒酸全酸化銅タルトラス、キュプリキュス
全酸化銅液ヲ酒酸ニ和シ煮レバ暗青綠晶ヲ結フ
溶ケ易シ此液ニ酒酸ヲ點添スレバ溶ガタキ青白
粉狀ノ酸鹽ト爲ル
酒酸亞酸化瓶タルトラス、ヘイドラルゲーロシュス

消酸亞酸化瓶ニ酒酸加里ヲ和スレバ複親和ヲ以
テ此鹽細キ鱗屑ト爲テ沈ム水ニ溶ケズ氣ニ中レ
バ黃色ト爲ル
酒酸全酸化瓶タルトラス、ヘイドラルゲーリキュス
醋酸全酸化瓶液ニ酒酸ヲ點スレバ白粉晶ヲ生ズ
○抜答肹亞局方ニ載ル所ノ製法ニテハ精好ノ品
ヲ得ト無ク亦晶ヲ結ハズ
酒酸銀タルトラス、アルゲンチキュス
複親和ヲ以テ製ス白色ニメ溶ケズ氣ニ黑銹ス
酒酸安質タルトラス、スチビキュス

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

全酸化安質液ニ酒酸ヲ和スレバ方柱ヲ生ス溶ケ易ク潮リ易シ

酒酸複鹽類

酒酸加里曹達 タルトラス、ポットアシキュス、エト、ソヂキュス サル、セイグネッチ サ ルポレイケレスヱス、セイグネッチ タルタ リュスナトロナヱス サル、リュルレンシス

此鹽ハ千六百七十二年 寛文十二年 佛蘭西羅攝而列府ノ藥局。布錫孤涅多者ノ偶得ニメ五十餘年其家ノ秘方タリシヲ傑臘弗魯伊暴爾儒苦ノ二賢絶世ノ慧眼ヲ以テ燎然其秘ヲ披テ世ニ嘉惠セリト云

○製法ハ半炭酸曹達一比ヲ水六比ニ錫鍋ニ煮。滾沸ニ乘ノ酒石細末少許宛加ヘ沸淬止ムヲ度トシ炭酸曹達一比ヲ加テ濾過シ又煮テ一滴ヲ鐵板上ニ點ノ凝ルニ至リ又濾テ冷セバ晶ヲ結ブ但シ曹達少ク勝ツキハ晶形豐美ナリ

○晶芒ハ四面六面八面或ハ十面ニメ玲瓏ナルー冰ノ如シ鹹味邪惡ナラズ氣ニ中レバ唯外面風化シ煆ケバ自家ノ結晶水ニ溶化シ而后分離ス水一分半。湯三分一ニ溶ク成分ハ加里曹達各一亞酒酸二亞即チ酒酸加里。酒酸曹達各一亞水十亞ナリ

酒酸諳摸尼亞 タルタムス、アムモニアキュス、ア ムモニアカーレ、ワインステーン

舎密開宗 巻十七

タルタルスソルビリス獨乙人所稱、和蘭所稱ハ酒酸加里ナリ

酒石ヲ煮溶シ炭酸譜摸尼亞ヲ加テ稍飽度ヲ過キ放冷スレバ方柱或ハ六面柱ヲ結ブ㊀味清涼ニメ舌ヲ刺シ氣ニ中レバ風化メ譜摸尼亞飛散ス水二分。湯一分ニ溶ク成分ハ前鹽ト同シ但結晶水ノ分量詳ナラズ

酒酸亞酸化銕加里タルトラス、ポツトアシエト、ポツトアシキュス

銕屑一分ニ酒石四分ヲ加ヘ水煮スレバ水素發メ其銕酸化シテ粉狀白鹽ト爲テ沈ム極テ水ニ溶ガタク銕味アリ氣ニ中レバ更ニ酸化メ黑色ト爲ル

酒酸全酸化銕加里タルトラス、ポツトアシエト、ポツトアシキュス

銕屑一分。酒石四分ニ水ヲ加ヘ稀泥トシ溫處ニ置テ時々攪動スレバ漸ク黑色ト爲ル試ニ取テ水ニ投スレバ大抵溶化スルヲ候ヒ多分ノ水ヲ加、煮テ濾過シ其液ヲ文火ニ煮テ鹽トス○結晶セズ氣ニ潮リ水ニモ亞爾箇兒ニモ溶ケ銕味甚シ○酒酸複鹽ハ都テ苛性若クハ炭酸加里ヲ以テ分離スト雖モ特リ此鹽ハ其銕加里ニ由テ分離セズ此特異ノ一性。涤家ニ鴻益アリ涤工其理ニ達セズト雖モ試驗歲深メ自ラ妙致ヲ曉得シ硫酸銕ヲ用ルニハ必ズ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酒石ヲ配互ス

酒酸亞酸化錫加里タルトラス、スタンノ㆓
錫屑或亞酸化錫ヲ酒石液ニ溶シ製ス〇溶易メ晶ト、エト、ポットアシキュス
ヲ結ビガタシ前鹽ト同ク苛性。炭酸ノ加里ニ由テ
分離セズ〇涂家鹽酸錫ヲ使用スルニ酒石ヲ配ス
ルヿ多シ亦此鹽ヲ生セシムル理ニ黙契ス

酒酸全酸化銅加里タルトラス、キュプリキュス、エト、ポットアシキュス
暗青緑ノ晶ニメ溶クベシ〇水瀬料ニ用ベシ此ハ
銅緑ヲ酒石ニ和シ溶シ溶液ヲ煎乾シ製ス

酒酸安質加里タルトラス、スチビキュス、エト、ポットアシサ
タルトラス、ポットアシキュス

ースチビアテム　ブラーク名イン
ステーン　韃爾答律斯粤黙知究斯

此製ハ墨印悉苦多ニ創リ後人陸續メ日新ノ發明
多シ特ニ亞爾尼琢知散ヲ用ル法第二百四十八章モ
良法トスベシ近簡易ノ一法アリ費半ニメ功倍ス」
安質沒尼細末一比ニ水二分ヲ添ヘ之ヲ磁皿ニ煮
消酸一比許ニ半分ノ水ヲ加タルヲ取テ且加ヘ且
煮テ加ヿリ仍數時火上ニ置バ消酸安質ト爲テ硫
黄分ル於是其劑ニ多分ノ水ヲ注ケバ拔塞斯性ノ
消酸安質ト爲ル之ヲ屢ク淋洗スベシ消酸ヲ除盡
サンガ爲ニ最後ノ淋水ニ炭酸加里少許ヲ溶スベ

シ而后洗淨セル酸化安質ニ酒石末一比ヲ加ヘ水煮シテ濾シ濾液ヲ蒸散シ放冷シ結晶ヲ再ヒ煮テ晶ヲ結バシム」

此鹽ハ從來或ハ晶ヲ結ヒ或ハ晶ヲ結バザル者トシテ強テ結晶ヲ議セズ乾マデ蒸散セリ百回一回ノ如ク端晶ヲ爲(ジ)テシカモ性質淨潔ナル者ヲ得ル法ハ實ニ今日ニ刱レリ○按ニ從來舶載ノ品ハ沙クタル淡黃ノ粉ナリシガ六七年前ヨリ雪白ノ大晶ヲ爲ス者ヲ致ス此ヒ恐ク ハ爰ニ說ク所ノ新法ニ由テ製スル者ナルベシ效カモ亦從前ノ者ニ比ベレバ頗ル峻烈ナリ其晶潔白透明ニメ稜角端正ナリ氣ヲ冒セバ稍曇暗スト雖モ風化メ類レズ味微甘邪惡ナリ勒佉母斯紙ヲ紅變ス水十五分湯二分ニ溶ク○甚タ稀薄ナラザル溶液ハ硫化水素ニ遇ヘバ所含ノ酸化安質盡ク安質沒尼ト爲テ沈ミ硫消鹽ノ三酸ニ遇ヘバ拔塞斯鹽ト爲テ沈ミ苛性加里少許ヲ加レバ酸化沈ム加ルコト多ケレバ復タ溶解ス醋酸ハ特リ此鹽ト交涉沒シ○成分ハ諸家ノ說一定セズ窓爾ミ、貴斯多ハ最モ成分ノ詳攷ニ勞苦セシガ宛モ別爾ハ略ト兩意融會シテ百分ハ酸三八又六一。加里一三又二六。酸化安質四二又九九。水五又一四。卽チ酸二亞。加里一亞。酸化安質三亞

水ニ亞トス

此外利加知亞。新元素名重土。加爾基。苦土。ノ複鹽アレ𪜈學者ノ急務ニアラザルヲ以テ玆ニ略ス

佛蘭西方。酒酸加里蓬酸名上ニ同シ　ボラクス、タルタリス　別法云ソリビリス

佛蘭西ニテ藥用トス○製法ハ蓬酸一分ニ酒石四分ヲ和シ水二十四分ニ溶シ蒸散メ粘糝可シ捏メニ至リ冷シテ堅キ塊トス○美酸味アリ結晶セズ氣ニ潮リ水四分ノ三湯四分ノ一ニ溶ク亞爾箇兒ニ溶ケズ○成分ハ酒酸加里蓬酸ナリ蓬酸ヲ拔塞斯トス

獨乙和蘭方。酒酸加里蓬酸名上ニ同シ　ボラクス、タルタリサタ別法云ヲ和メ水製法ハ蓬酸曹達一分ニ酒石三分四分ニ溶シ暫ク靜定シテ澄ヲ取リ蒸散シテ粘膠ノ物トシ冷シテ堅塊トシ緊口壜子ニ貯フ○上鹽ト同性ナリ但濕ヲ引ク更ニ甚シ是ヲ以テ所貯ノ壜塞吸著メ抽キ取ベカラザルニ至ルアリ○成分ハ前鹽ト異ニメ酒酸。蓬酸。加里。曹達ノ四物ナリ如此鹽ヲ世ニ寧生鹽テルーリ、ソ。ウトト稱ス酸拔塞斯共ニ二樣ニメ二鹽雙生スルガ如クナレバナリ

附錄　福傑先酸ホゲセヒール

藐氏舎密ニ近容氏者坊間ニ酒酸ト稱シ驚ク者ノ中一種異様ノ品アリ其酒酸始メ徳巴爾多(デパルト)[redacted]徳斯福斯傑斯(デスホスゲス)ニテ製スル所ノ者ナルニ因テ之ヲ福傑先酸ト名ク偲墨彛ハ葡萄酸(ドロイヱンシユール)(トラウベンサウレ)ト名ク㊁成分亞量共ニ酒酸ニ同シ稟性モ亦大異無シ此果メ一種ノ異酸ナル歟又何等ノ法ヲ以テ此酸生スルヤ未タ詳ナラズ恐ハ酒酸ヲ製スル異法ニ由テ生スル者ナラン

安息酸第二百七十七章

(アシデュム、ベンゾイキュム ベンゾスーシユール フロールス、ベンゾスース)

安息酸ハ藥局ニテ安息香華ト稱シ安息香ヲ昇華法ニテ華ト爲ス者ナリ酸性アリ

㊂合藥舎密云昇華法ハ安息香ノ焦油(オレウム、ベンツエス、エムペイレウマチキュム)昇テ精好ノ華ヲ得難シ故ニ濕道ノ法ヲ良トス其法安息香細末十六弓ニ結晶炭酸曹達(藐氏舎密ニ炭酸加里ヲ用テ効同シト云)三弓ヲ和シ水ヲ以テ稀泥トシ砂火ニテ手ヲ駐メス攪セ香ノ融ケサル火度ヲ以テ煮ヿ一二時又水ヲ加ヘ濾シテ滓ヲ淋洗シ淋汁ヲ本液ニ合シ煮テ一麻篤トシ放冷シ稀硫酸ヲ加テ渣ヲ起シ渣生シ歇テ其渣ヲ水洗シテ沸湯ニ

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』　請求記号 特1-855
ガラス使用

溶シ放冷スレハ白晶ヲ結フ即チ此酸ナリ
○蘓氏舎密云安息酸ハ千五百六十年永禄三年華羅攝
爾魯安息香ヲ乾餾シテ創テ之ヲ得タリ當時ハ安息
酪ト呼做セリ爾後多昏穤會爾涅昇華法ヲ以テ輕
軟ニシテ光輝アル晶ヲ得テ之ヲ安息香華ト名ク濕
道製法ハ悉肱列ニ權輿シ來者愈益ゝ其法ヲ修繕
シテ今日ノ全備ニ至レリ○此酸ハ翅ニ安息香ノ
ミナラズ抜爾撒摩孛露抜爾撒摩多露蘓合香蘓合
油。汳藥。桂。芫香。某ゝノ禾本動類ニテハ童便。食草獸
ノ尿中ニ在リ又酸素蘓魯林ト共ニ桂油苦扁桃油。

等ニ在リ○布蠃斯多ハ動物ノ某体ニ消酸ヲ加テ
此酸ヲ生ストス謂ヘリ昏結列爾ゝハ獸脂ヲ乾餾シテ一酸ヲ得之ヲ脂酸アシデユ
ム、セバシヒユムト名ク別爾入略此酸ヲ試テ安息酸ニ一箇分離シガタキ分ヲ兼ル者トセリ○精
好ノ安息酸ハ色白ク纎細ナルヿ繭絲ノ如ク柔軟
ニシテ撓屈スベク或ハ薄キ葉片晶ヲ爲ス香無ク味
微酸ニシテ舌ヲ刺ス若シ黄氣ヲ帯ヒ或ハ酸臭アル
者ハ純精ノ品ニアラズ温レハ烊化シ冷レハ光芒
紋アル塊ヲ爲シ煆ケハ煙ト爲テ鼻目ヲ戟シ咳ヲ
發ス開器ニ熱シテ火ヲ點スレハ焰ヲ揚テ焚ユ○結
晶水無シ○炭素十五亞。水素六亞。酸素三亞。一亞ハ

百二十〇水、二百分。湯、二十五分亞爾箇兒三分ニ溶ク又能ク亞的兒。精油ニ溶ク〇拔塞斯ニ和メ安息酸鹽ベンソアテスヲ爲ス

安息酸曹達ベンソアクーチキュス

針晶ヲ結ヒ氣ニ粉化ス味甘メ刺戟シ水八分ニ溶ク亞爾箇兒ニ、沸熱ト雖モ溶ケガタシ〇童便。食草獸ノ尿中ニ在リ其獸尿ヲ煮テ三分ノ一ト鹽酸ヲ點滴スレハ渣垽沈降ス沈垽ハ此酸ト尿酸ト和スル者ナリ惡臭アリ

安息酸諳撲尼亞ベンソアス、アムモニアキュス

中性ノ者少シ拔塞斯勝ツキハ流動ス之ヲ蒸散スレバ諳撲尼亞ノ一分飛散メ酸鹽ト爲ル〇水ニ溶ガタシ湯ニ溶シ冷セバ晶ヲ結ブ冷ヤ漸クナレバ羽毛ノ如ク急ナレバ粒晶ヲ爲ス中鹽酸鹽共ニ亞箇兒ニ溶ク

安息酸重土ベンソアス、バーチキュス

針晶。氣ニ變ゼズ水ニ漸ク溶ク

安息酸斯多侖土ベンソアス、ストロンチアナ

前鹽ト同シ但氣ニ中テ光澤ヲ喪フ然ル粉化セス

安息酸加爾基ベンソアス、カルキキュス

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

瑩白光輝アル稜晶ヲ結ビ氣ニ粉化ス味甘シアリテ舌ヲ刺ス水二十分ニ溶ク

安息酸亞酸化滿俺ベンクアス、マンガノエス

淨白ノ細柱或ハ薄片ヲ爲ス氣ニ變ゼズ水ハ二十分。湯ハ少許。亞爾箇兒ニ溶ク○此鹽ヲ乾餾スレバ油ヲ滴ス其油ノ色香稀稠。甚タ桂油ニ類スト但シ其安息酸精好ナラザレバ此油ト共ニ些ノ靑酸出ツ

安息酸亞酸化錳ベンクアス、マンガノエス

帶黃色ノ晶ナリ氣ニ粉化ス水。亞爾箇兒ニ溶ク

安息酸全酸化錳ベンクアス、テルリキュス

淡赤ノ粉ナリ水ニ溶タズ斐聖業爾ノ說ニ沸湯ニ溶セバ酸鹽ト拔塞斯鹽ト二分レ酸鹽ハ結晶スト云

安息酸尼結爾ベンクアス、ニッコリキュム

淡綠ノ葉片晶ヲ爲ス氣ニ粉化シ亞爾箇兒ニモ水ニモ溶ク

安息酸亞鉛ベンクアス、レンキュス

前鹽ニ同シ但針晶ヲ爲ス

安息酸鉛ベンクアス、プルムビキュス

光アル葉片ヲ爲シ水ニ溶ガタク氣ニ變ゼズ結晶水零三八四。亞爾箇兒ニ溶ク○諳摸尼亞ヲ加フレバ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

抜塞斯鹽ヲ為ス此ハ溶ガタキ白粉ニメ結晶水無
シ酸一亞抜塞斯三亞ニ成ル
安息酸亞酸化錫ベレワアス、ス
タレイノエス
鹽酸錫液ニ安息酸曹達ヲ加レハ白粉ト為テ沈ム
湯ニ少シ溶ケ亞爾箇兒ニハ溶ケズ
安息酸蒼鉛ベンソアスビ
スミチエスス
白キ針晶ナリ溶ケ易シ氣ニ變ゼズ亞爾箇兒ニハ
少ク溶ク
安息酸全酸化銅ベンソアス、
キュプリエス
暗綠ノ稜細晶。水ニ溶ケ難ク亞爾箇兒ニ溶ケズ

安息酸亞酸化煩ベンソアスヒド
白粉。甚タ溶ケガタシ昇華メ白キ羽毛晶ヲ為ス
安息酸全酸化煩ベンソアス、ヒド
水ニモ亞爾箇兒ニモ溶ク煎シテ結晶セズ唯粉狀
ト為ルノミ中等ノ熱ニテ羽毛ノ如キ晶ヲ昇ス火
度甚ケレバ分離ス
安息酸銀ベンソアス、ア
白粉ナリ消酸銀液ニ安息酸加里或ハ安息酸曹達
ヲ和スレバ複親和ヲ以テ之ヲ生ズ日光ニ中レバ赭
色ト為ル湯ニ溶ケ冷レバ粉ト為テ沈ム亞爾箇兒

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ニ溶ケズ

安息酸安質沒尼ベンソアス、スチビキス

白キ葉片鹽ナリ氣ニ變ゼズ水。亞爾箇兒ニ溶ク

蓼酸加里第二百七十八章

ビオキサラス、ポットアシ　ビオキサラス、ビペル、ヲキサラス、ポットアシ　ビオキサラス、ビーレ、ポットアス酸性蓼酸加里　ビオキサラス、ビーリングビーレ、ポーアス酸レ、カリ同上　ビオキサラス、ビーリングデ、カラーフルビールデ、カラーフルビーグ、ソ。ウート蓼鹽。蓼ハ酢漿草（カタバミ）ニ在リ

蓼酸ハ加里ニ和メ自然ニ酢漿草ニ在リ

○按ニ蓼酸加里ニ酸性。中性。四複ノ三等アリ本章所謂ノ者ハ酸性蓼酸加里ナリ

合藥舍密云酢漿草或ハ律（リメキス）陵幾斯。亞施多沙（アセトサル）酸撲ノ一種按

ニ秋海棠モ亦用ベシ　ノ生メニ三月ナルヲメリ搗キ搾テ青汁ヲ取リ蛋清ヲ攪セ煮レバ所含ノ澱粉ハ蛋清ニ和シ分ル之ヲ清楚ノ布ニテ濾シ磁器ニ入レ砂鍋ニ安シ煮テ蜜ノ稠トシ冷處ニ安頓メ晶ヲ結シム剰液ハ又煮テ晶ヲ得。數度ノ晶ヲ餾水ニテ溶シ煮テ清潔ノ晶トシ無膠紙上ニ乾ス

又法　蓼酸第二百六十六章ヲ極テ少シノ餾水ニ溶シ炭酸加里ノ醇液ヲ和スレバ其二液水分少キニ因テ沈澱ヲ生ズ愈加テ澱生シ歇ムヲ度トシ沸湯ヲ加ヘ煮テ晶ヲ結シム○此製法若シ加里ノ分量適度ヲ超

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ユレバ中鹽ト爲テ試藥醫方ノ用ニ堪ヘズ故ニ蔆酸液モ加里滷モ醇厚ナル者ヲ和シテ澱生シ歇ムヲ正鵠トシ加里ヲ加ヘ過ザラシム○短キ方柱暗晶ヲ爲ス氣ニ變ゼズ水ニ溶易カラズ燒酒十四分ニ溶ク煆ケバ烊化シ膨脹メ酸煙ヲ發シ炭酸加里残ル○成分ハ加里一亞。蔆酸二亞。

中性蔆酸加里（ヒーリングセレ、ポットアスキサラスポットアシレキュス）

酸性蔆酸加里ニ炭酸加里ヲ和シ製ス○柱晶ニメ水ニ溶易シ煆ケバ炭酸加里残ル○攝律（ヒポ）剌斯（ラス）曰安質沒尼平對量ヲ加テ煆ケバ安質加里ト爲ル

四複蔆酸加里（クワドリヒーリングセレ、オキサラス、ポットアシレキュス、オキサラスポットアシレキュス）

酸性蔆酸加里ニ消酸ヲ加レバ之ヲ生ス尋常ノ蔆鹽。自ラ此ヲ雜ルニアリ○針晶ヲ結ビ前鹽ヨリ溶ケ易シ○成分ハ加里一亞。蔆酸四亞。

固油第二百七十九章

（オレ。ウム、エキスプレッサ、ゲペルステ、オーリー搾油）

固油ハ阿利襪。南杏。北杏。亞麻子ノ類ヲ搾テ取ル油ナリ多クハ粘液ヲ雜ヲ水。亞爾箇兒ト和性無シ○葛氏曰固油ハ無味無臭ナリ肉豆蔻。老利兒等ノ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

搾油ニ其氣味有ルガ如キハ精油ヲ雜ルガ故ナリ
色モ淨白或ハ微黃ヲ常トスレ若シ深黃或ハ綠色ナ
ルハ亦精油ヲ挾ムト知ベシ新鮮ノ固油ハ亞爾箇
兒ニ和セズ苛敗スル者ハ稍和性ヲ生ス「沸湯ノ熱
度ヲ以テ揮散セズ故ニ蒸餾スルヿ能ハズ○固油
ニ粘液或ハ蘧蒢ヲ加フレバ能ク水ニ和スヿヲ植酪
又舉繆爾西阿ト稱ス○固油ノ成分モ亦水炭酸ノ
三素ナリ或云、水素二十六分、炭素七十分、油ニ火ヲ點メ焚ルハ水
素ノ焚ルニメ酸素其焚燒ヲ助ルナリ而メ其炭素
ハ游離シ凝テ煤ト爲ル卽チ油煙ヲ煎油ノ鍋中火ヲ引テ

發燒スル片之ヲ救ヒトシテ辛ニ水ヲ投スレバ火
焔愈益ク熾盛ナリ蓋シ其水焚油ノ甚熱ニ由テ水
酸ノ二元斯ニ分離シ此二元斯力ヲ併セテ其焚勢
ヲ扶クルガ故ナリ
○固油ヲ久ク貯レバ敗テ辛薇ノ味ヲ生シ渾濁メ
臭氣ヲ生ス之ヲ苛敗又做薇ト謂ヒ藥用餌食共ニ
害アリ苛敗ハ油性ニ從テ遲速アリ胡桃油亞麻油
ハ苛敗最速ニ蕓薹油ハ最遲キガ如シ苛敗ノ由テ
生スル所以ハ炭酸ヲ脫スルニ在リ而メ其炭酸ヲ
脫スル所以ハ其油大氣ヲ受テ自ラ發酵スルニ由

リ油大氣ヲ受テ自ラ發酵スルハ油中ニ粘分アルニ由ル故ニ炭酸ヲ發スル法術ヲ設テ以テ其苛敗ヲ防クベシ譬バ過酸硫酸礬土加ク里ニ炭酸加爾基ヲ水ニ和シ海綿ニ蘸シテ油桶ノ底ニ置キ或ハ業(ナデ)已ニ苛敗セル油ニハ甘味ノ果瀛ノ搗爛メ油ノ十分一量ヲ和スレバ果汁發酵シテ炭酸瓦斯ヲ發シ敗油之ヲ稟テ本性ニ復ス

舍密開宗内篇巻十七　終

宇田川榕菴　重譯增註

錫布第二百八十章

サポニュレ　サポゼーブ

固油。亞爾加里ニ和合スレバ錫布ヲ成ス（按ニ此章固油ニテ云爾ト雖モ錫布ハ水ヲ其一成分トス第九章ヲ參考メ知ベシ）

◯按ニ錫布ノ品類。無慮數十種アリ此レ其之ヲ造ル油料ト亞爾加里ノ品同カラザルニ由ル藥用内服ニ供スル者ハ阿利襪或甘扁桃油ト曹達ヲ用ヒ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

火ヲ假ラズメ製シ勿搦祭亞又亞里甘知攝ト呼フ
者ハ煮テ製ス浣濯ニ用ル下品ノ錫布ハ雜油ト加
里ヲ用テ製ス其他近日舶載スル所。白蠟ノ如クニ
メ紅脉或青脉間雜メ瑪瑙ニ擬シゲマルムルデゼープト名ク或
艷紅桃花ノ如クニ或鮮黃明亮ニメ琦琿ト一般貳ナ
キ者アリ皆芳香ニメ書畫小照ヲ鏤メ彩盒ニ盛リ
畫箋ニ包ム此等ハ香奩剃鬚ノ用ノミ

硬錫布ヲ造ルニハ阿利襪油。或獸脂ヲ用フ蔓荊子カ
精。罌粟。胡桃。亞麻。鯨油ノ如キ硬錫布ヲ造ルベカラ
ザル油モ阿利襪油。或獸脂各半ヲ和スレバ硬錫布
ヲ製スベシ

藥局製藥用錫布ノ法　阿利襪油或扁桃油二分ニ苛
性曹達滷水一ヲヲ容ルベキ壜ニ十一分ヲ和シ仔細
一錢ヲ容ルベキ稠厚ノ者ニ研擂シ型ニ納レ風乾メ用フ潔白ニメ佳香アリ
味甘美ナリ但シ扁桃油ヲ用タルハ數日ヲ經ザレ
バ辛蝕ノ性退カズ

◯淋滷括套（據ル廣義ニ）

曹達三比。生石灰一比。多製、則更減石灰、少製、則更增石灰、先ソ石灰ニ
水少許ヲ灌テ濕シ粉化シ而後曹達ヲ和シ桶（注篇アリ）
ニ納レ水ヲ加フ其水灰上ヲ過ル約四分寸ノ三ヲ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

度トシ靜定スルヿ數時。注管ヲ放テ滷ヲ淋ス此滷ハ味極テ苛烈。量重ク福窯多黙多爾ニ測テ十八度ヨリ至リ廿五度雞卵ヲ投メ浮ム之ヲ頭滷ト名ク其滓ニ再ヒ前量ノ水ヲ注キ又靜定數時ニメ淋ス之ヲ貳滷ト名ク其滓ニ又水ヲ注キ三滷四滷ヲ淋スベシ三滷ハ其重四度ヨリ至ルニハ度四滷ハ薄ノ用ルニ堪ヘズ唯貯テ新ニ滷ヲ淋スル水ニ代テ益アリ滷ハ皆緊口壜ニ貯フベシ

煮錫布ヲ括套同上

油三廿ヲ鍋ニ納レ三滷一廿半ヲ和メ火ニ上セヿ凡油ヲ以テ製スルニハ先ツ薄滷ヲ和シ漸ク醇滷ヲ和ス脂膏ニテ製スルニハ初ヨリ醇滷ヲ和スヘシ

木棍ヲ以テ擂攪シ煮ルニ二三密紐多毎ニ三滷一麥酒盞宛加ヘ加盡シテマタ貳滷ヲ和シアリ火ニ頭滷ヲ少許宛加テ稍粘稠ナルヲ度トシテ鹽酸曹達二三弓ヲ投シテ仍煮ヿ一時間。火ヨリ下シ靜定スレハ錫布凝テ滷上ニ浮ム之ヲ抄沫杓ニテ抄ヒ或哆囉絨上ニ傾テ剩滷ヲ漏瀝シ除キ之ニ水或四滷半比ヲ加煮テ再ヒ溶シ煮沸ノ間頭滷少許ヲ加ヘ凡煮ヿ半時ナルベシ時々取テ冷石上ニ點シ或指間ニ拈テ粘糝セザルヲ候ヒ再ヒ剩滷ヲ瀝シ水一

彬篤ヲ以テ煮テ稍水氣ヲ蒸散シ火ヲ下シ型ニ納レ冷シ稍凝結スルヲ候ヒ片ニ截リ印識シテ風乾ス錫布五匕ト爲ル（）匠家ニテ錫布ヲ煮ル鍋ハ半身以下ハ鐵或銅ニテ半身以上ハ木ナリ深サ五尺徑リ八九尺ナリ其煮中ニ分レ煮後ニ瀝スル剩鹵ハ炭酸亞爾加里液ナリ棄物ニ非ス貯テ爾後石灰ヲ加テ苛性トシ淋メ終時ニ加ル鹵ニ用ベシ」型ハ底ニ綿布ヲ張リ四隅ニ石灰粉ヲ摻テ粘著ヲ防ベシ」凡錫布ヲ製スル亞爾加里ハ曹達ヲ用ベシ加里ヲ用レバ必ス軟錫布ヲ爲ス然レ𪜈加里ヲ用テ硬錫布ヲ製スル法アリ油三匕ニ前法ノ如ク加里鹵ヲ和シ煮テ煮間ニ鹽酸曹達六匕若シ油ノ代リニ獸脂ヲ用ヒハ脂一匕毎ニ一握ヲ用ヒ水ニ溶シ少宛加ヘ一時間煮レバ錫布硬固ト爲リ鍋底ニ鹽塊ヲ生ス其理ヲ詮スルニ加里ハ鹽酸ニ和スルヿ曹達ニ勝レリ此ニ因テ鹵中ノ加里鹽酸曹達ノ鹽酸ニ和メ鹽酸加里ト爲テ鍋底ニ著ク鹽酸曹達ノ代リニ硫酸曹達ヲ用テ亦可ナリ鍋底ニ硫酸加里ヲ生ス（）或獸脂三匕ヲ加里鹵ニテ過半錫布ト𪜈終時ニ曹達鹵ヲ以テ功ヲ收レバ硬錫布六匕ヲ製スベシ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

青紅脉錫布ハ煮了テ最終ニ加ル滷中ニ硫酸鐵液ヲ加レハ曹達ニ因テ黒酸化鐵ヲ生ス剩滷ヲ瀝シ後一攪シ間道ヲ為シ型ニ納ル赤酸化鐵ヲ和スレハ紅脉ヲ為ス

乾性油第二百八十一章

ドローゲンデオーリイ○按ニ邦俗ニ隠光漆或蜜陀漆ト稱ス

固油ニ酸化鉛等ノ如キ酸化金屬ヲ加ヘ煮レハ大氣ニ乾ク性ノ油ト為ル畫術ニ用フ此油中ノ粉分酸化鉛ニ和スルニ因ル○篤隆氏曰諸油皆鉛灰ヲ加煮テ乾性ヲ得ルニ非ズ煮テ仍乾カザル油アリ

○悉肱列曰阿利襪油四分ニ酸化満俺一分ヲ煮レハ乾性油ヲ為ス蓋満俺ノ酸素油ニ和シ乾性ヲ賦スルナリ某種ノ油類ノ氣ニ觸テ自ラ乾クハ氣中ノ酸素ノ致ス所ナリ按ニ漆ノ氣ニ乾クモ亦氣中ノ酸素ニ由ルナリ

○固油或乾性油ニ礬土ヲ和シタル泥ヲ勿的律去母○又律多尼刺斯ト稱シ舎密術ニ諸ノ尼斯ヲ捕ル装置ヲ固定スル無比ノ膠泥タリ

精油第二百八十二章

オレウム、アーテレア　フルッゲユーテリセオーリー　ヱーセンレイキオーリー自然油　フルッゲオーリー揮發油

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

精油ハ香氣鑽透シテ味辛ク微温ヲ以テ揮散シ暫ク大氣ニ中レバ稠厚ト爲ル亞爾箇兒ニハ和シ水ニハ多ク和セズ蘗糖ヲ研リ合セタルハ能ク水ニ和スル者ノミ（按ニ些ノ精油ヲ含ム燒酒ハ蒸餾精ナリ）芳香ノ露水ハ些ノ精油。水ニ和スル者ノミヲ含果實ハ別ニ此油ヲ貯畜スル處アル者アリ此油ハ沸湯度ヲ以テ揮散ス水ニハ僅ニ溶解シ亞爾箇兒固油ニハ多分溶解ス消酸ヲ和スレバ華爾斯ニ變ス其酸甚タ駿烈ナルヰハ發火メ熬ユ尚次章ニ詳

ナリ精油モ亦水炭酸ノ三素ニ成ル○獨別列乙涅爾曰枸櫞皮油。的列並帝那油等ハ炭素水素ノミヲ以テ成リ絶テ酸素ヲ含マズ○色種ミアリ刺賢垤兒油ハ黄色。桂油ハ褐色。地榆根油。加密列油ハ青色。亞爾鮮油。洋芹油ハ綠色ナルガ如シ」凡精油ハ莖葉花子根皮ニ在リ殊ニ林氏第十四綱實ニ納密亞類諸草ノ莖葉第十九綱聖業涅齊亞類諸草ノ種子ニ多シ」

餾精油ヲ括套　乾料生草（子ハ油ヲ得ル却テ少シト云）ヲ豫メ水ニ浸シ第三十一圖甲ノ銅罐ニ入レ甕ヲ覆ヒ合際ヲ

紙ニテ糊封シ乙ノ福摎察壜ヲ接シ丁ノ兇嘴ヲ壜ノ丙頸ニ挿シテ蒸餾スレバ露水油ヲ帶テ其壜ニ出ツ水油餾出ノ庚線ニ來レバ油ハ水面ニ浮ミ水ハ下テ辛嘴ヨリ溢流シ油漸ク水面ニ積ム○至精至輕ニメ餾出シ難キ油ヲ餾スルニハ臭氣無キ固油ヲ綿絮ニ蘸シ一層ハ此綿ヲ布キ一層ハ芳草香花ヲ布キテ餾ス」

精油和消酸第二百八十三章

精油ニ消酸ヲ和スレハ響鳴メ焰ヲ發シテ熱ユ其消酸ニ硫酸五六分一ヲ和スレバ焚燒殊ニ甚シ其熱ル時ニ當テ太タ膨脹スルニ因テ愼テ試ムベシ

○葛氏舍密云精油ハ消酸或硫酸ヲ和スル消酸ヲ以テ熱ユ一味ノ硫酸ヲ加レバ沸熱メ黑色ト爲ル此ニ水ヲ加レバ赭色ニメ錫布ノ如キ物ト爲ル水燒酒ニ溶解セズ消鹽酸ヲ加レバ僅ニ黃沫ヲ發スルノミ」鹽酸ヲ和シ煮レバ溶和ス蓚酸ハ此油ニ溶解ス然ル後晶ヲ結ブ

精油和酸化鹽酸加里第二百八十四章○

精油ヲ酸化鹽酸加里第百二十四章ニ研和シ或ハ酸化鹽酸斯内ニ納レバ爆聲ヲ發メ焚ユ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

〇廣義云酸化鹽酸加里ハ精油。華爾斯。躉謨。的列並帝那。薫陸。石松粉。錫布。羯布羅等ニ和スレバ焚ユ若シ焚ザルトキハ硫黄ヲ和スレバ便チ焚ユ〇按ニ第百二十五章。發燭硫枺ノ說ト參考スベシ

羯布羅第二百八十五章

カムポラ カムフヱル 〇按ニ樟腦、又腦、龍腦ノ總稱

羯布羅ハ大約精油ニ似タリ其精油ト異ナル所ハ消酸ヲ加ヘテ爇エズ却テ一種ノ酸ヲ為ス之ヲ羯布羅酸アシデュム、カムポラト カムフルシュール 謂フ

〇羯布羅ハ白色緻密ノ晶ヲ結ヒ其性甚タ揮發ナリ蓋シ固形ノ精油ト謂ツベシ六十八度ノ熱ヲ以テ昇華シ三百度ノ熱ヲ以テ流動ス水ニハ纔ニ其香氣ノミヲ傳滲シ亞爾箇兒亞的兒。固油。精油。ニ溶解ス亞爾加里ニ親和無シ火ヲ點スレバ水上ニ在テモ能ク焚ユ成分ハ水炭酸ノ三素ナリ〇合藥舍密云羯布羅ハ專ラ樟樹ニ在リ又精油ト共ニ迷迭香。草菓。益智。沙禮。薄荷。茉玉蘭等ノ芳草ニ在リ〇葛氏舍密云薄荷油。洋芹油等ノ精油ヲ久ク貯ツレバ壜中ニ羯布羅ヲ結生ス此ハ其性。常ノ羯布羅ニ同ク氣味ハ其油ノ氣味ト同シ 按ニ薄荷油、舶來ノ者ハ流動シ本邦所製ノ者ハ結

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』　請求記号 特1-855
ガラス使用

昌ス蓋シ邦産ノ薄荷ハ羯布羅多キナリ

○羯布羅酸ハ古攝扈爾甸ノ發明ナリ羯布羅ニ消酸ヲ加、餾スルニ陸續八回ニ及ヘバ則此酸ト爲ル或云此酸ハ蔘酸檎酸ノ相和スル者ナリ

華爾斯第二百八十六章

レシナールス

華爾斯多キ植物ノ皮ヲ毀傷スレバ傷口ヨリ華爾斯流出テ凝固ス卽チ乳香、微羅苦列應攝華爾斯ノ如シ質乾固ニメ碎ケ易ク火ニ投スレバ熬ユ○亞爾箇兒ニ溶ケ水ニハ溶ケズ亞爾箇兒ニ溶タル液ニ水ヲ加レバ華爾斯復タ分テ沈降ス按ニ分ツ約翰巴華爾斯ヲ法等此理ニ基ケリ

華爾斯第二百八十七章

華爾斯ハ硬軟ノ諸膏藥ニ配互シ或ハ物什ヲ髹ル勿爾尼斯ニ入ル

○按ニ勿爾尼斯ハ漆ノ類ナリ廣義ニ丁義里氏ノ勿爾尼斯說ヲ引テ二綱ニ別ツ第一綱ハ純粹ノ蘧摸或膠樣質ヲ含ム動植體ヨリ製スル者ヲ屬シ第二綱ハ華爾斯ヲ精油或固油ニ烊ス者ヲ屬ス此ニ五屬アリ每屬又數種アリ○第一屬ハ最乾キ易シ筒子。盒匣。櫃揹ノ類ヲ髹ルニ用フ○第二屬ハ稍乾

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

キ難シ撓屈スル物。紙扇ノ類。諸ノ木器ヲ髹ル○第三屬ハ莫爾(モル)薑斯(ダンス)ト名ク精油。的列並帝那油ニテ製ス彩畫ニ用フ○第四屬ハ薫陸ヲ的列並油或亞的爾ニ烊ス○第五屬ハ脂油(亞麻胡桃油類)ニ薫陸琥珀或會(ラス)刺斯知加(カヽ)ヲ溶ス○今爰ニ其第一屬第一種ノ方ヲ錄ス

其方　亞爾箇兒三十二錢。乳香六錢。杜松脂。勿撚祭亞的列並帝那。各三錢玻瓈粗末(馬尾羅ニ篩テ細粉ヲ除ク者)四錢右的列並帝那ノ餘物ヲ短身玻瓈盌ニ納レ亞爾箇兒ヲ注キ其盌ヲ稈環(ワラノワ)ニ載セ溫湯中ニ浸スヿ約ソ一時光景(バカリ)ニメ脂類烊テ粘著スルヲ候ヒ白木ノ挑(サキ)頭棍(マルキボウ)ニテ攪回シ脂。全然烊了ルヲ候ヒ盌ノ半身ヲ熱湯ニ浸シ的列並帝那ヲ加ヘ烊シ四分時ノ後湯ヨリ出シ冷ルマデ攪セ明日綿布ニテ絞リ濾ス○玻瓈粗末ハ溶化メ劑ニ和スル者ニ非スト雖モ此沙ク糙(ザラ)クノ質ニ由テ脂類ノ凝結ヲ疏解シ且其溶化ヲ進ルヲ以テ方中ニ在テ極テ緊用ノ品タリ

蘆謨華爾斯第二百八十八章

蘆摸華爾斯(ギュムミ、レジナー、ゴムアクチヘハルス、ゴムハルステン)ハ華爾斯ニ粤幾斯分或ハ蘆謨ヲ雜ル者

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ナリ故ニ一分ハ亞爾箇兒ニ溶ケ一分ハ水ニ溶ク

○廣義云麪謨華爾斯ハ或種ノ植物ノ根莖葉ニ在テ白ラ流出スルヿ稀ナリ卽チ盧會。安謨尼亞幾。阿魏。瓦爾拔紐毋。龍骨木脂。藤黃吉納。沒藥。血竭。藕合香。等ノ如シ

澱粉第二百八十九章

フェキュラ、アミラセラシセットメール　按ニ漿粉、葛粉、類ノ總名

日用ノ漿粉、卽チ澱粉ナリ以テ他ノ澱粉ノ質ヲ類推スベシ澱粉ハ大小諸麥ノ麪或薯類ノ根ニ多シ其根ヲ細末シ或擦下シ洗淘メ澱ヲ收ムベシ

○沙古米ハ南椰幹心ノ澱粉ナリ爪哇島ニテ造リ錵葉筒ニ納レ歐邏巴ニ致ス小麥ハ澱粉多ノ本量ノ半ニ居レリ○凡テ植物生靈ヲ滋養スル所以ノ質ハ澱粉ナリ極北夷地五穀ヲ産セズ依蘭苔ヲ常食トスルモ此苔。澱粉多キガ故ナリ蒸歲ニ饑民紙ヲ食フヿアリ紙ハ草木ノ裏皮ヲ以テ漉爲シ裏皮ニハ澱粉アリ兼テ膠氣アルニ因テナリ○澱粉一種ナラズ綠澱粉。赤澱粉。黃澱粉等ナリ

綠澱粉植學啓原ニ所謂蛋清分ナリハ莖葉ノ杵汁（ヒボリヒル）中ニ在リテ其質麩筋ニ似タリ綠色ニシテ澱スルニ因テ此名ア

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

リ喻ヘバ錫布草譯名ハマナデニ水ヲ加テ擣爛シ「コレ」ノ類ナリ
漉紙ニテ漉セバ清澄ノ緑汁出。此汁暫時ニメ濁リ
十八時ニメ器底ニ緑物ヲ澱ス此即チ緑澱粉ナリ
上清ハ黄色ノ澄ヲ爲ス○緑澱粉ハ中等ノ熱ニ遇
ハ凝テ塊ヲ爲シ半ハ水ニ溶解ス其緑色。熱スル亞
爾箇兒ニ出ッ故ニ其性蠟ニ殆シ煮レバ多ハ黄色ニ
變シ硫酸ヲ加フレバ藍澱ノ類ト爲ル窓連別爾孤曰
緑澱粉ハ葉ノ皮下蜂窩質内ニ在テ植物外被ノ緑
色ヲ爲ス
赤澱粉ハ十様錦。雁來紅ノ葉及ヒ諸草ノ嫩苗紅芽
ニ在リ亞爾箇兒ニ浸出ス其他苔蘚ノ類。五彩爛熳
タルハ各種ノ澱粉ノ色ナリ
黄澱粉ハ毛蕊石龍芮ノ花ニ在リ鹽酸ニ由テ緑色
ニ變シ加里ヲ以テ原ノ黄色ニ還ル

澱粉稟性第二百九十章

澱粉ハ水ニ溶解セズ百六十度溫ヲ以テ方纔テ水ニ
溶ケ百八十度溫ヲ以テ凝テ稠厚ノ粘液ヲ爲ス○消
酸ヲ加テ餾スレバ蔆酸ト爲ル（第二百六十六章）糖ノ如シ
大氣ニ中レバ酸ト爲ル○乾餾スレバ一種ノ酸ヲ滴
ス之ヲ焦粘酸ブラレヅフスト名ク輓近ノ諸家之ヲ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

醋酸ナリトス

○焦粘酸ハ糖ヲ乾餾メ之ヲ得ベシ色黄赤ニメ人ノ皮膚ニ著ケバ黄痕ヲ殘シ其痕表被剥テ方纔テ消ス○獨別列乙涅爾曰澱粉。蘆薈。糖ハ成分同シ酸素一亞。炭素一亞。水素一亞。通計メ四十三亞ナリ○澱粉ニ醇厚ノ消酸六倍ヲ和スレバ消石瓦斯。炭酸瓦斯ヲ發メ先ッ檸酸ト爲リ次テ蓚酸ト爲ル

麩酚第二百九十一章

コルラプラレテレイム植膠
グルテレケレーテレンデストフ

麩酚ハ小麥麵ヲ水ニ捏メ餅トシ水中ニテ捫搓シ洗ヒ澱粉分レ去テ殘ル所ノ物ナリ膠ノ如クニメ彈力アリ伸レバ又縮ム會刺斯知加ノ如シ燒バ牽縮ス列篤爾多ニテ餾スレバ動物ノ體ヲ餾スル如ク諳摸尼亞出○亞爾加里ニ溶解ス此溶液ニ酸ヲ加レバ復タ分レテ沈降ス

○廣義云麩酚ハ亞爾箇兒ニ溶解ス此液ヲ煮テ舍利別ノ稠トシ生石灰ヲ和スル者ハ一種ノ勿爾尼斯第二百八十七章ニメ辨物家用テ物産異品ヲ髹リ其徽腐蝕ヲ防ギ遠久ニ傳フ或ハ植体ノ顔料按ニ藤黄藍澱等ヲ和シテ彩畫ヲ描ニ用ヒ或ハ磁陶玻瓈器

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ノ缺ヲ續クベク蒸餾器ノ接際ヲ固封スベシ按ニ坊間ニ金平糊或盤石糊ト稱スル粉末ヲ販クアリ此ハ麩斛ニ石灰末ヲ和シ乾シ末スル者ナリ

◯麩斛ヲ乾餾スレバ先ツ水ヲ滴シ次ニ諳摸尼亞ヲ含ム水出ル少選ニメ臭油炭酸諳摸尼亞ト少許ノ青酸諳摸尼亞油樣ノ炭水素瓦斯ヲ發シ最後ニ輕虛ノ炭殘ル炭量麩斛五分ノ一ニ居ル此炭燒テ灰ト爲リ難シ動物炭ノ徵灰中ニ燐酸加爾基ヲ含ム小麥麵一忙ノ燒灰中ニ燐酸加爾基二刃ヲ含ム右ノ試說ニ據レバ麩斛ハ植物ニ遠ク動物ニ近キヲ以テ舍密家或ハ之ヲ植中動分グルーイヨンデヴール イキストフルゲ

ト。アニマリスト名ク

會剌斯知加第二百九十二章

カヲ。ウトショウク エラスチーカ ヱール
カラクチゲゴム ハルス、アン、カエンチ子

會剌斯知加ハ火ニ熬ベク水ニ溶解セズ的列並帝那油ニモ全ク溶解セズ唯洗過亞的兒水ニテ淋洗シタルノミ溶解ス◯亞的兒ヲ洗フ法ハ亞的兒ノ條第三百章ニ出タリ

樹脂ナリ樹名ハ植學啓原ニ出此脂亞墨利加地方ヨリ壜ニ造リタルヲ歐邏巴ニ致ス色赭黑ナリ此ハ壜ニ造テ日久ク烟竈上ニ懸乾スヲ以テ其煙煤ニ染リタ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ルナリ原色ハ白シ歐邏巴人其壜ヲ片截シテ沸湯ニ浸シ柔輭ニシ亞的兒ニ溶解シ蠟ヲ以テ造リタル摸型ニ髹リ後溫メテ蠟型ヲ烊シ除キテ加爹多爾。消息子。子宮塞産科之具潰膿蠟捻子。貌縷窟帶ヲ造ル

○又此脂ハ精油ヲ和シタル亞爾箇兒ニ溶解ス其法。會刺斯知加截片ヲ玻盞ニ納レ消酸製ノ羯布羅油一分ニ亞爾箇兒七分ヲ和メ注ケバ會刺斯溶テ琶布ノ狀ト為ル之ヲ的列並帝那油ニ溶シテ前件諸物ヲ摸造ス

材分第二百九十三章

ホウトヱーゼル、ホウトストフ

材分ハ樹木材理ノ元質ヲ為ス者ニメ堅實ノ材ハ此分愈多シ○性水ニ溶解セズ乾餾スレバ一種ノ酸ヲ生ズ之ヲ焦木酸ブランヂフ、ホウトヱールト謂フ近輓諸家定テ醋酸ニ同シトス餾後黒炭ヲ殘スノミ

○合薬舎密云凡植物ノ体所含ノ諸分ヲ除ケバ材分ノミ殘ル其性火ニ熱ヘク熱テ後炭ト為リ又焚テ灰ト為ル其成分植物ニ從テ一様ナラズト雖モ炭水酸ノ三素。亞爾加里土鹽金屬ナリ○穀類禾本植物ハ珪土多シ般効莽曾テ燕麥ノ灰一千分ヲ消

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酸ニ溶メ消酸珪土六百零七分燐酸加爾基三百九十三分ヲ得タリト云

福烏爾格羅乙。般劫彝云。焦木酸ハ醋酸ト大異無シ醋酸ニ焦油ヲ滴和スレバ便チ焦木醋ヲ為ス

又鳩爾苦分(キュルクストフ)ト云者アリ材分ト同シカラズ消酸ニ由テ鳩爾苦酸ヲ為ス

色分第二百九十四章

ヘルウストフ コレウレデベギレスル
ヘルヴェレデストフ

色分ノ植體ニ在ルヤ必ス他ノ諸分ト和合セリ其之ト和合スル諸分ノ性一ナラザルニ因テ之ヲ溶解メ色分ヲ開綻セシムル剤モ亦一ナラズ」

凡ソ色分ハ硫酸礬土加ミ里或ハ酸化錫ニ親和ス故ニ此等物ヲ深汁ニ加フレバ汁中ノ色分盡ク沈降ス蓋シ硫酸礬土加ミ里ノ如キハ色分ヲ引テ親和シ其礬土ハ深ントスル物貨ト色分ノ媒灼タルナリ」喩ヘバ茜根煮汁ニ硫酸礬土加ミ里ノ液或ハ消酸錫少許ヲ加ヘレバ茜根ノ紅分ハ礬土若クハ酸化錫ニ和メ猩紅ノ澱ヲ為メ沈降ス即チ一種ノ勒佉(ラッカ)ナリ

哥攝尼爾(コセニル)花金龜ノ一種ハ其質動物ニ係ルト雖モ其色分亦礬土酸化錫ニ由テ沈降ス 第二百廿九章

○色分ハ他分ト和合セリ之ヲ分離シ溶解スル物料ヲ開色劑ト名ク和合ノ分護謨則水。開色劑タリ華爾斯則燒酒。或油。開色劑タルガ如シ或酸精或亞爾加里ヲ開色劑ト爲ス者アリ勒佉母斯ノ如キハ發酵ニ由テ其色開綻ス色分ノ物質ニ親和スルニ難易アリ鳥獸ノ毳毛最難ク蠶繭之ニ次キ麻葉又之ニ次キ草綿最易シ」物ヲ染ルニ方テ必ス色分ニ加フベキ物料アリ之ヲ添劑（プリンシピウム、アヂーベーフーグレイキ、ゴロンドベギンスル）此ハ善ク染色ヲ其物ニ媒灼シ或ハ其褪散ヲ拒防スル劑ヲ謂フ硫酸礬土加里酸性酒酸加里。鹽酸錫液。消酸錫液。單寧。醋酸礬土。銅綠。硫酸鐵。醋酸鉛。白砒等ノ如シ

○植物色分ノ首稱スベキ者概左ニ開列ス

青勒佉（エツク、クールムレア）○按ニ勒佉母斯巴列爾律斯共ニ蘚名 ○利鮮邏攝兒剌或ハ利鮮巴列爾律斯ノ細末ニ曹達ヲ加ヘ尿ニ浸シ乾ス者此浸汁或其染紙ハ酸ニ遇ヘバ紅色ニ變シ其紅變スル者亞爾加里ニ遇ヘバ還タ青色ト爲ル故ニ舍密家見酸ノ試藥ニ用テ要品トス

藍靛○青色ノ澱粉ナリ馬棘（インヂゴフェラ、ティンクトリア）揚州畫舫錄ニ曰通志云、藍有三種、蓼藍ハ染綠、大藍ハ淺碧、槐藍ハ染青、謂之三藍ト按ニ蓼藍ハタデアヰ、大藍ハ菘藍、槐藍ハ所謂馬

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

棘ナ葉ヲ發酵セシメテ製ス酸精ニ遇テ紅色ト爲リ

ラズ亞爾加里ニ由テ綠色ト爲ル

紫根◯根皮ニ美紅ノ色分アリ燒酒◦油◦脂◦蠟◦ニ煮レバ開發シ水ニハ浸出セズ

薑黃◯水煮メ黃色ヲ出ス此黃色◦亞爾加里ニ由テ老虎色ニ變ス故ニ其染紙ヲ試藥ニ用フ

茜根◯麻皇綿毳ヲ紅色ニ染ム

蘇木◯水煮メ紅色ヲ發ス亞爾加里◦石灰ニ由テ紫色ニ變ス◯藥舖指南◦紅墨（ロードインキ）水方◦蘇木二十四錢◦礬土加ク里◦酸性酒酸加里各八錢右雨水三十二ヲ以テ煮テ半ヲ減シ攪謨蕨糖各八錢ヲ溶和ス多年貯テ色渝ラズ

董菜花◯青色◦中和鹽ニ變ゼズ酸ニ紅變シ亞爾加里ニ綠變ス（按ニ鴨跖草花牽牛花之ニ同ジク通用スベシ）

紅藍花（ベニバナ）◯水煮メ黃汁出（ヅ）黃汁ヲ去リ亞爾加里ニ由テ嬌紅色ヲ發ス所謂燕脂（エンヂ）紅（ルージ）ナリ

蠟第二百九十五章

セラ、ワス

蠟ハ火ニ烊化シ易ク又能ク焚立固油ノ稠厚ナル者

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

コリ他無シ○蠟ハ黃色ナリ酸化鹽酸ニ因テ白色ト爲ル黃蠟ヲ酸化鹽酸加里滴ニ煮レバ十密扭多ニメ白蠟ト爲ルト云

○廣義云蠟ハ其質固油ニメ頗ル饒多ノ酸素ヲ含ンデ凝テ固形ヲ爲ス者ナリ一百四十度ノ熱ニ烊解メ油ノ如シ○蠟ニ加里曹達ヲ加レバ錫布ト爲ル此錫布精緻ニメ百工ノ用ニ入ル所使甚夕浩シ」ニ接西洋所用ノ妮煙管ニ光澤ヲ生セシムル緑漆アリ蘆謨達刺侃多、白錫布、白蠟右三味ヲ和劑ナリト云又紋紙ヲ光滑ニスルモ錫布ヲ用フト云ヘリ百工ノ用トハ此等ヲ謂フナルベシ○凝油一名植酪プラントアールトガヘボートル稱スル者アリ固油ノ硬ク蠟ノ軟ナル者ナリ老利兒油。加ク阿酪等ノ如シ

分離植體蠟ノ法

植物ノ體或ハ表ニ光澤膩氣アリ或ハ質柔輭ニメ撓屈スルニ因テ必ス蠟分アラントト議スル者ハ之ニ諳謨尼亞水第六章四倍量ヲ注テ半時浸出シ絞テ浸液ヲ取リ亞醋酸第三百四章ヲ加ヘテ諳謨尼亞ニ過飽スレバ黃粉ヲ沈降ス此粉ハ華爾斯ニ蠟分ヲ夾雜スル者ナリ其華爾斯ト蠟分ヲ分ツ爲ニ其粉ヲ乾シ亞爾箇兒ニ淋洗スレバ華爾斯ハ亞爾箇兒ニ和メ流動シ蠟分特リ殘ル

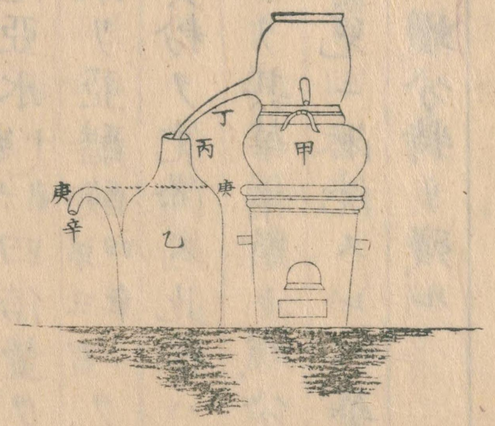
舍密開宗内篇卷十八終

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

特1
855

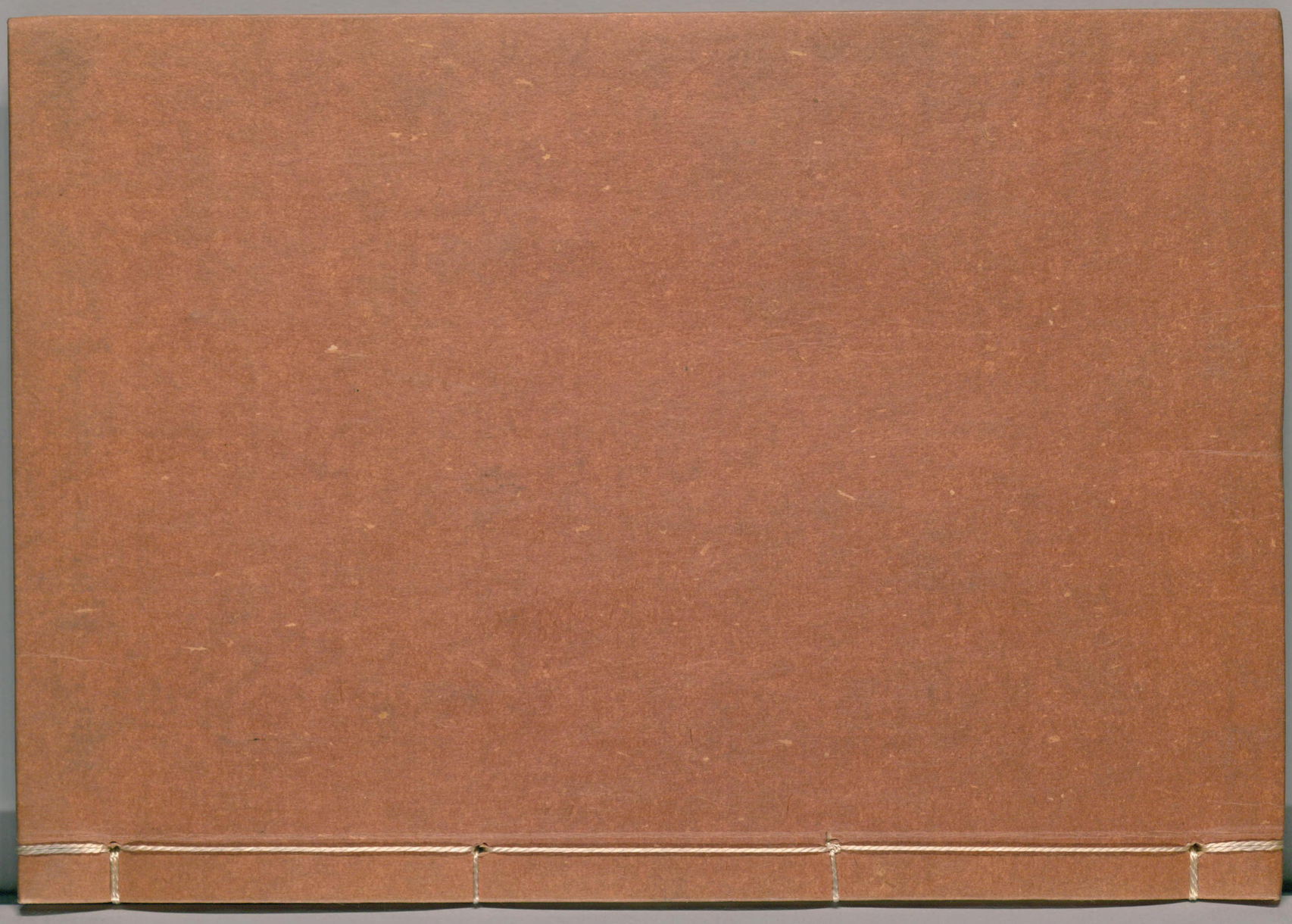
第三十一圖

餾精油括套圖



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

855
特1
国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用